

道路情報便覧付図表示システム

Ver. 20240701

操作マニュアル

令和 6 年 7 月

目 次

第1章	インストール	4
1-1	インストールに必要な環境	4
1-2	インストール	4
1-3	アンインストール	8
第2章	システムの基本機能	9
2-1	システムの起動	9
2-2	システムの構成画面	13
2-3	地域選択画面	18
2-4	県全域表示	19
2-5	前の表示範囲に戻る	19
2-6	基本機能（拡大、縮小、移動）	20
第3章	表示コントロール	27
3-1	スパン情報	27
3-2	広域地図ウィンドウ	30
3-3	凡例ウィンドウ	32
3-4	未収録交差点番号の表示	34
3-5	区画選択表示	35
3-6	表示項目設定	37
第4章	交差点番号選択	39
4-1	交差点番号一覧表	40
4-2	交差点番号の選択	40
4-3	交差点番号の挿入	41
4-4	交差点番号の削除	42
4-5	交差点番号の表示	42
4-6	新規	44
4-7	エクスポート	44
4-8	インポート	44
4-9	白地図印刷	44
4-10	進行方向のガイド機能	46
第5章	検索	48
5-1	住所検索	48
5-2	その他の検索	50
第6章	印刷	58

6-1	画面印刷、区画印刷.....	58
6-2	縮尺指定印刷.....	61
6-3	印刷時の表示干渉チェック.....	63
6-4	印刷時の凡例表示、非表示.....	65
第7章	スパンの切り替え表示.....	67
7-1	指定道路表示モード、大型車誘導区間表示モードの両方を表示.....	67
7-2	大型車誘導区間表示モードのみ表示.....	68
7-3	指定道路表示モードのみ表示.....	69
7-4	表示の指定なしの結果.....	70
7-5	特車許可不要区間表示.....	71
第8章	データ更新.....	73
8-1	更新用データのダウンロード.....	73
8-2	道路情報便覧付図表示システム表示用データ更新ツール起動.....	74
8-3	更新用データフォルダ指定.....	75
8-4	更新実行.....	76
8-5	エラーメッセージ.....	77

〔変更履歴〕

- 2012. 06 住所検索の改良（国土交通省が提供している「街区レベル位置参照情報」に存在しない住所を「大字・町丁目レベル位置参照情報」で補完するように変更した）
- 2012. 08 都道府県を選択時に、「ビットマップ出力用のファイルのオープンに失敗しました」が表示された場合の対処方法を第 1 章に記載した。
- 2013. 02 1-1-1 の基本ソフトウェアに Windows8 を追加。
2-1 に Windows8 でのアプリケーション起動方法を追加。
- 2014. 06 大型車誘導区間表示の追加に伴い、スパンの表示色を変更。（P. 33）
第 7 章に、スパンの切り替え表示について記載。
- 2014. 10 第 1 章の基本ソフトウェア（OS）で、Microsoft 社のサポート終了の為「Windows XP」の記述を削除。
- 2015. 01 既定のインストール先の変更（C:\道路情報便覧付図…）により、1 章の項目「プログラム起動時にエラーメッセージが出る場合」を削除。
- 2015. 03 1-1-1 の基本ソフトウェアに Windows8.1 を追加。
- 2016. 03 凡例の「道路法適用外の道路（港湾道路）」を「道路法適用外の道路」に変更。
- 2016. 12 1-1-1 の基本ソフトウェアに Windows10 を追加。
- 2017. 02 データ更新機能を追加した。第 8 章に、データ更新について記載。
- 2017. 02 1-1-1 の基本ソフトウェアから Windows Vista を削除。
- 2019. 03 未収録道路の情報表示時に通過している市区町村名を表示できるようにした。
- 2019. 06 特車許可不要区間表示機能を追加。
- 2020. 06 特車スパン数の増加による不具合を修正。第 8 章に更新データを使用する際の注意点を追記。
- 2021. 06 1-1-2 にユーザーアカウント制御メッセージの文言を追加。
- 2022. 11 1-1-1 の基本ソフトウェアに Windows11 を追加。

第 1 章 インストール

1-1 インストールに必要な環境

1. 基本ソフトウェア（OS）

Microsoft Windows 7、Microsoft Windows 8、Microsoft Windows 8.1、
Microsoft Windows 10、Microsoft Windows 11

2. CPU

PentiumⅢ1GHz 以上（上記 OS が正常に動作する環境）

3. メモリ

2GB 以上（上記 OS が正常に動作する環境）

4. ハードディスク

1G バイト以上の空き領域が必要

5. 画面解像度

1024 x 768（XGA）、16bit High Color 以上

1-2 インストール

1. CD-ROM 内の Setup.EXE をダブルクリックした後、道路情報便覧付図表示システムインストールをクリックします。

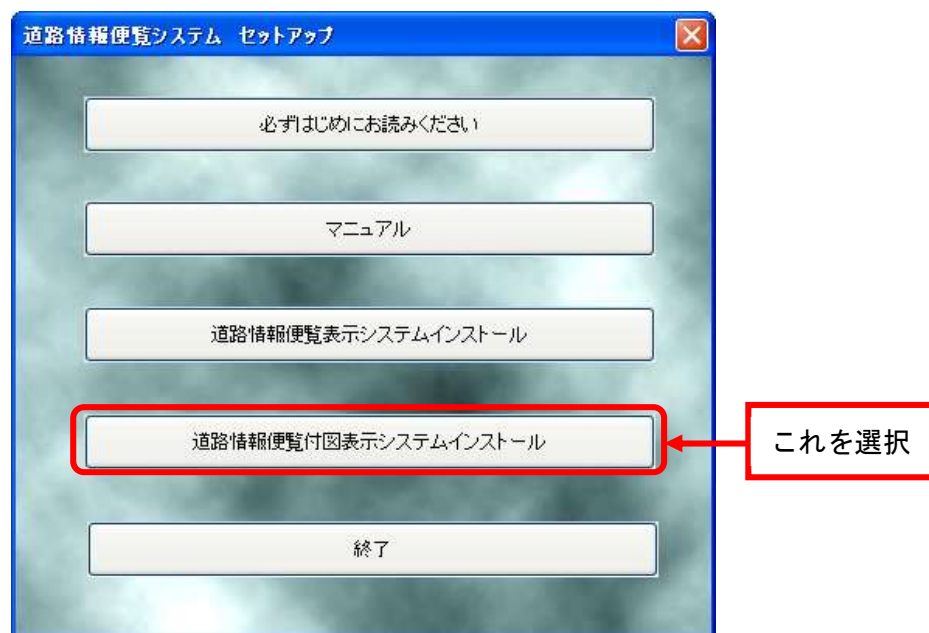


図 1-2-1 セットアップメニュー画面

以下のメッセージが出力された場合は、本システムの CD を CD ドライブに挿入して
いたら、「許可」を選択してください。

ユーザーアカウント制御

認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています。

または、以下のメッセージが出力された場合は、「はい」を選択してください。

ユーザーアカウント制御

この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？

インストールがスタートします。

次に、以下のダイアログが表示されます。



図 1-2-2 旧バージョンの有無の確認

旧バージョンの道路情報便覧付図表示システムがインストールされている場合は、アンインストールをしていただくことをお勧めします。

新バージョンでは特車交差点情報などが更新されております。旧バージョンを用いて申請をしてしまうと、間違った番号で申請してしまう恐れがありますので、ご注意ください。アンインストール方法は上記ダイアログにも表示されておりますが、Windowsの「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」から旧バージョンの「道路情報便覧付図表示システム」を選択し削除してください。

2. インストール開始画面です。通常はそのまま**次へ**を押して進みます。

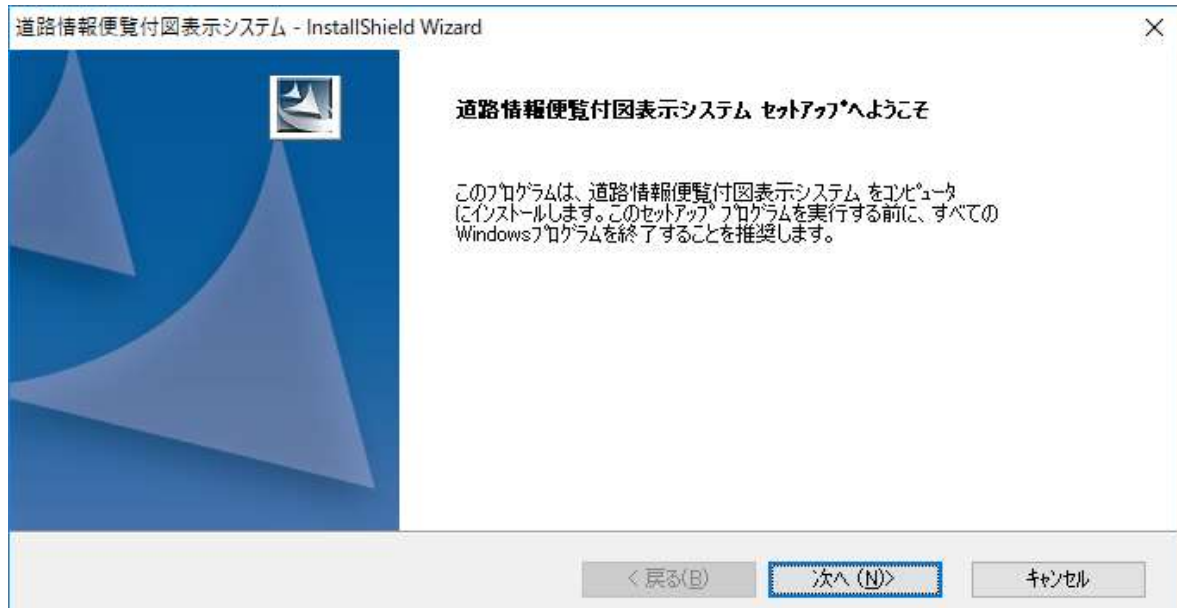


図 1-2-3 ようこそ画面

3. インストール先を指定します。デフォルトでは「**C:¥道路情報便覧付図表示システム Ver.20240701**」にインストールします。通常はそのまま**次へ**を押して進みます。

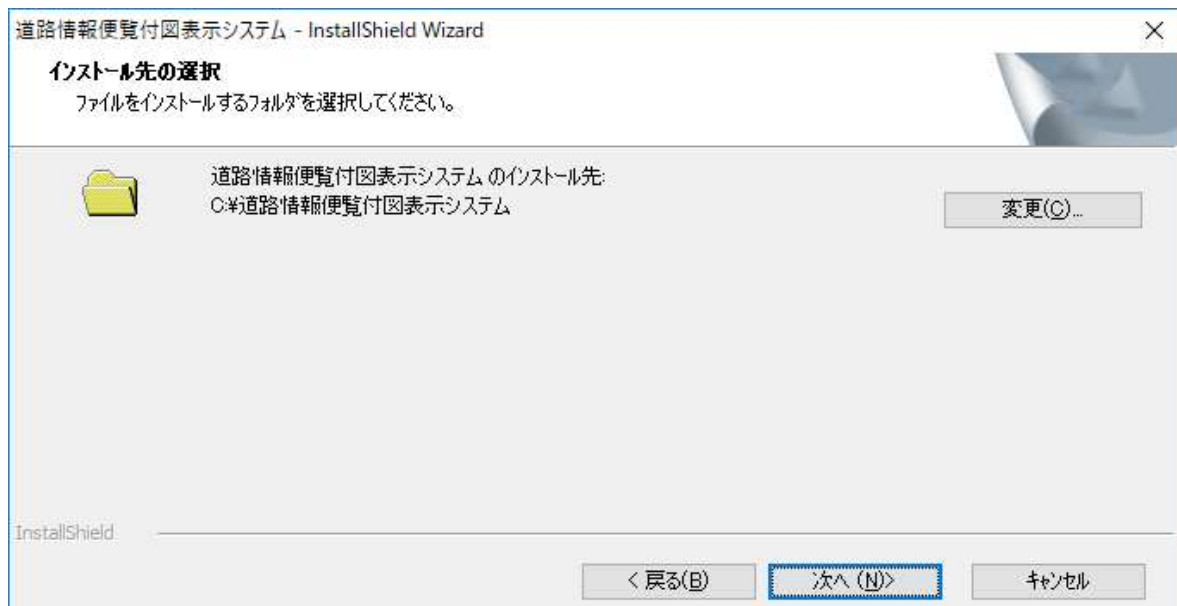


図 1-2-4 インストール先選択画面

4. インストール準備の完了画面です。インストールを押して次に進んでください。



図 1-2-5 インストール準備完了画面

5. システムに必要なファイルをハードディスクにコピーしています。しばらくお待ちください。

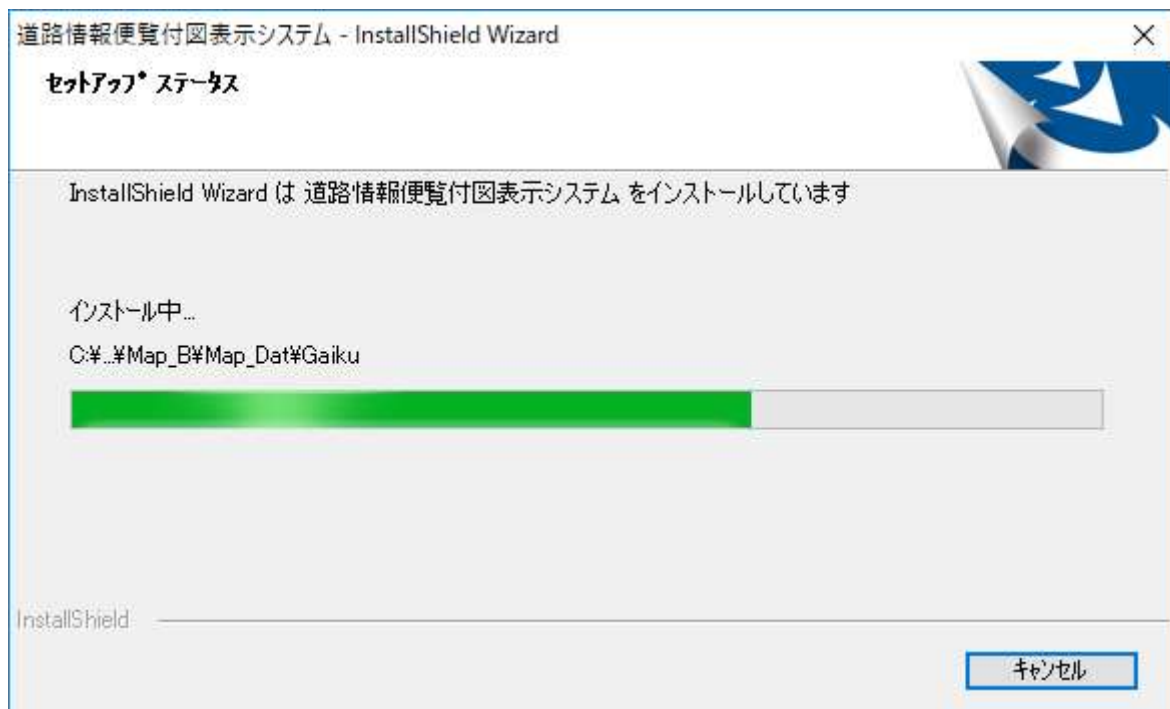


図 1-2-6 セットアップ進行中画面

6. 最後に**完了**をクリックしてセットアップを完了させてください。以上でインストールは完了です。



図 1-2-7 セットアップ完了画面

1-3 アンインストール

「スタート」の「コントロールパネル」から「プログラムのアンインストール」を選択し、表示された一覧から「道路情報便覧付図表示システム Ver.20240701」を選択して「アンインストール」をクリックしてください。

アンインストール完了後に、インストールフォルダが残る場合があります。その場合は、手動で削除してください。

このマニュアルでは、**赤枠表示は操作手順**を、**青枠表示は状態**を表しています。

第2章 システムの基本機能

2-1 システムの起動

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[道路情報便覧付図表示システム]→[道路情報便覧付図表示システム Ver.20240701]をマウスで選択して、アプリケーションを起動してください。

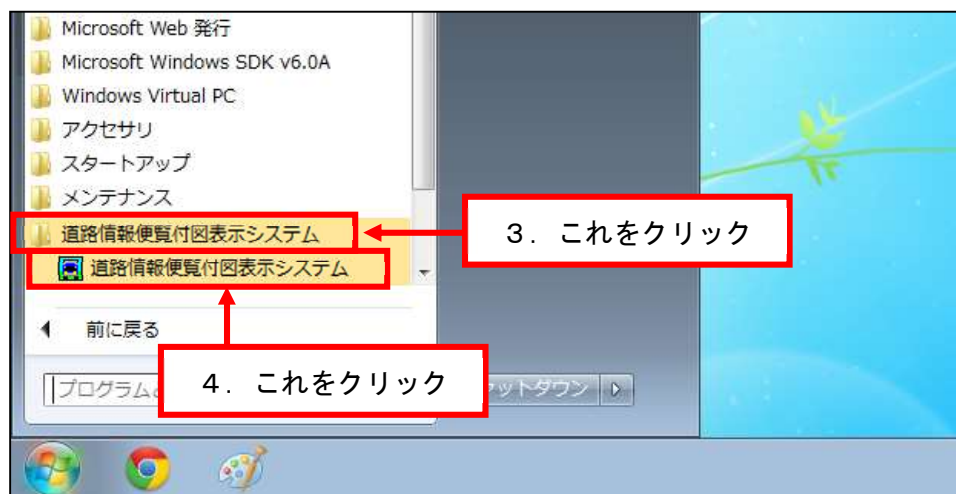
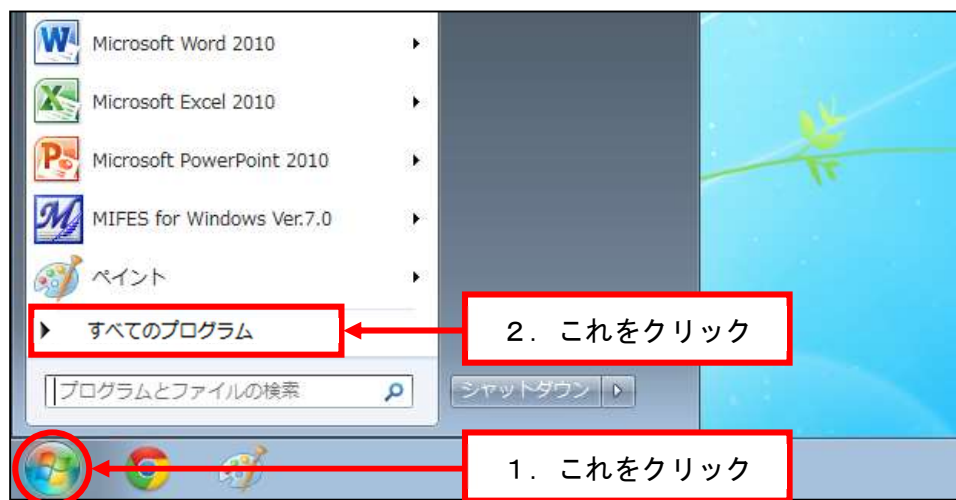
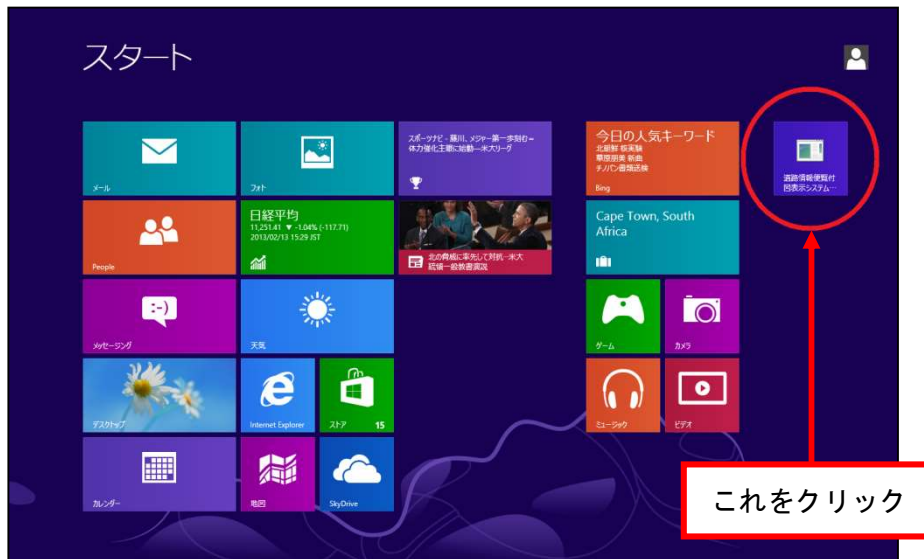


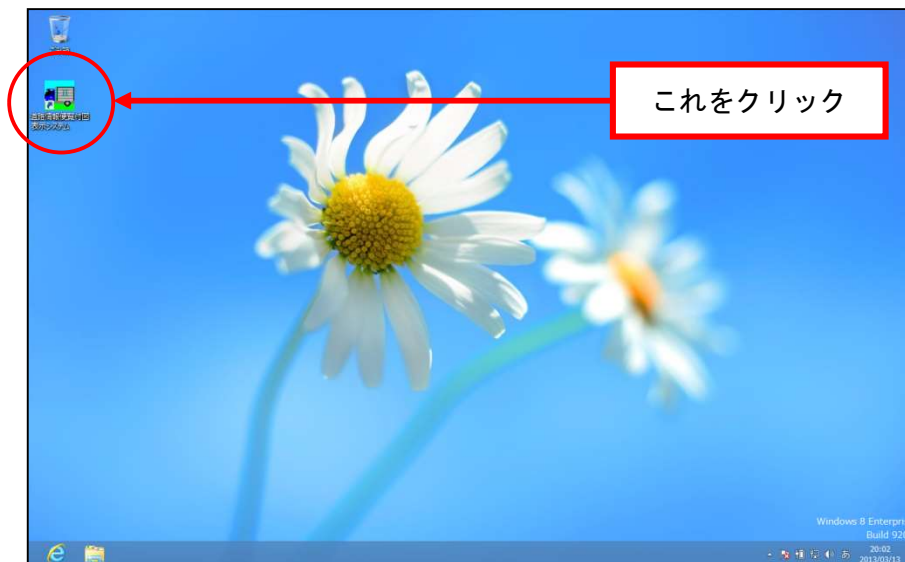
図 2-1-1 システムの起動方法を示した画面

【windows8 の場合】

スタート画面で[道路情報便覧付図表示システム Ver.20240701]をクリックして、アプリケーションを起動してください。



または、デスクトップ画面で[道路情報便覧付図表示システム Ver.20240701]をクリックして、アプリケーションを起動してください。



2. 初回起動時には地域選択画面が表示されます。県にマウスをもっていくと選択される県の色が反転します。その状態でクリックします。



図 2-1-2 地域選択画面

3. 県全域の地図ウィンドウを表示します。(図は東京都を選択した画面)

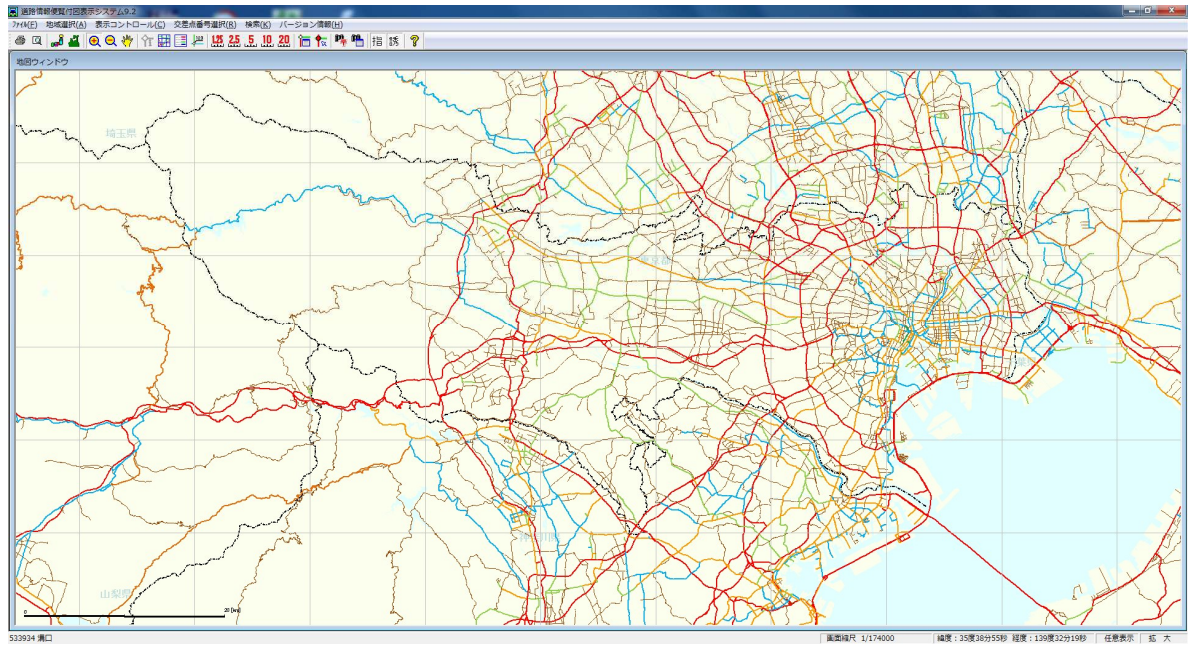


図 2-1-3 県全域表示画面

次回システム起動時は前回の表示位置でシステムが起動します。また、地域選択よりいつでも都道府県を選択表示することができます。

2-2 システムの構成画面



表 2-2-1 画面構成

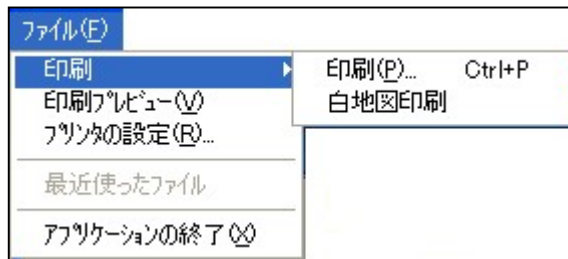
名称	機能
メニューバー	このシステムの機能呼び出すメニューが配置されています。
ツールバー	このシステムの機能を簡単に呼び出すツールボタンを配置しています。
ウィンドウ	このシステムを構成する画面です。「地図ウィンドウ」「広域ウィンドウ」「凡例ウィンドウ」から構成されています。
ステータスバー	ヘルプメッセージ、メッシュ番号、画面縮尺、緯度経度、操作状態等が表示されます。

2. メニューバー

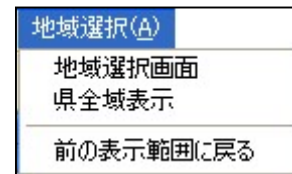
ファイル(F) 地域選択(A) 表示コントロール(C) 交差点番号選択(R) 検索(K) データ更新 バージョン情報(H)

各メニュー一覧

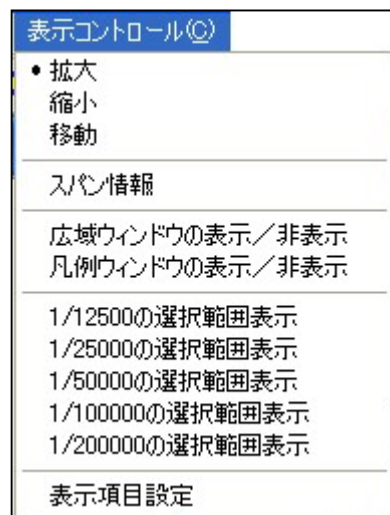
1) ファイル (F)



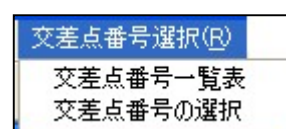
2) 地域選択 (A)



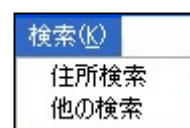
3) 表示コントロール (C)



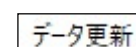
4) 交差点番号選択 (R)



5) 検索 (K)



6) データ更新

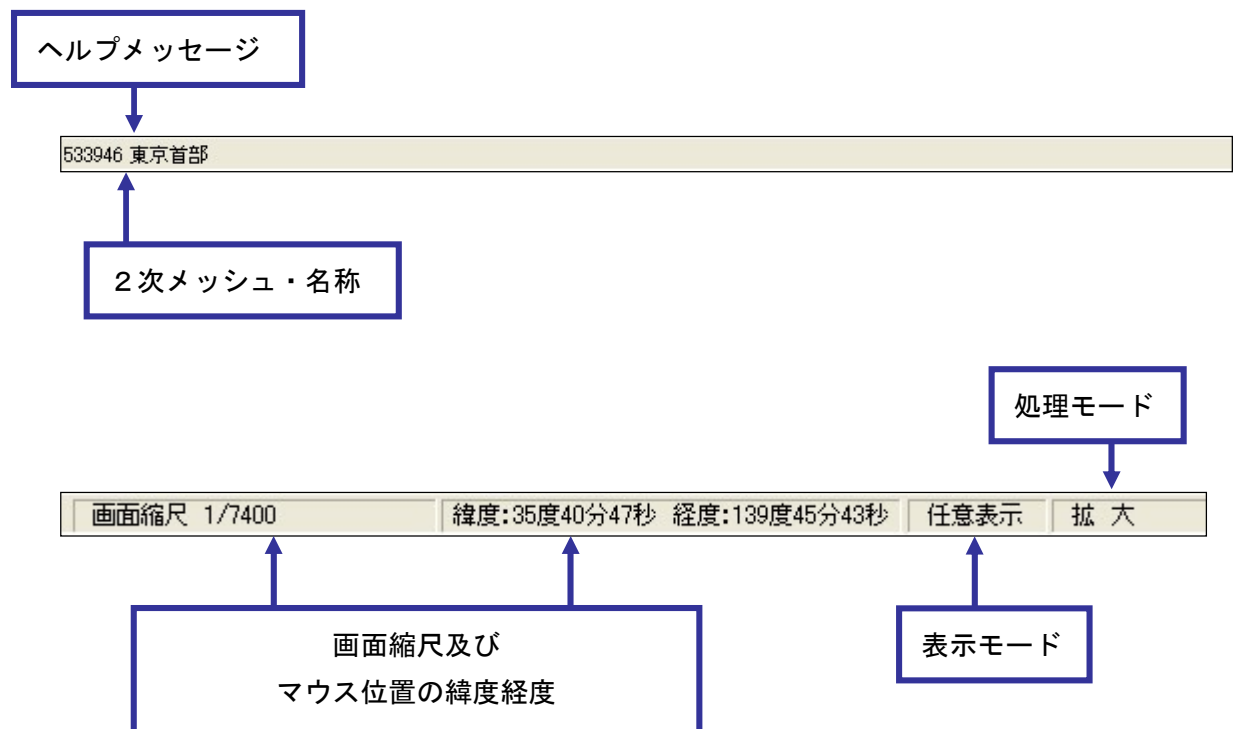


3. ツールバー



各ボタンをマウスオーバーすると名称が表示されます

4. ステータスバー（画面最下段）



[表示モード] 表示モードには以下の2種類があります。

任意表示：ユーザーが自由に拡大、縮小、移動などを行なった場合の

地図の表示モードです。このモードのときに印刷を行なうと画面表示範囲と同じ範囲を印刷します。

区画表示：1/12500～1/200000 までの区画を選択した場合の地図の表示モードです。

このモードのときに印刷を行なうと区画範囲を印刷します。画面表示範囲とはとなります。

[処理モード] 処理モードには以下の6種類があります。

拡大：地図を拡大するモードです。

縮小：地図を縮小するモードです。

移動：地図を移動するモードです。

リンク情報：リンクをクリックして情報を表示するモードです。

区画選択：各区画を選択して区画の範囲を表示するモードです。

交差点選択：地図上の交差点番号をクリックして、交差点番号のデータを作成するモードです。

5. ウィンドウは地図ウィンドウ、広域地図ウィンドウ、凡例ウィンドウから構成されています。

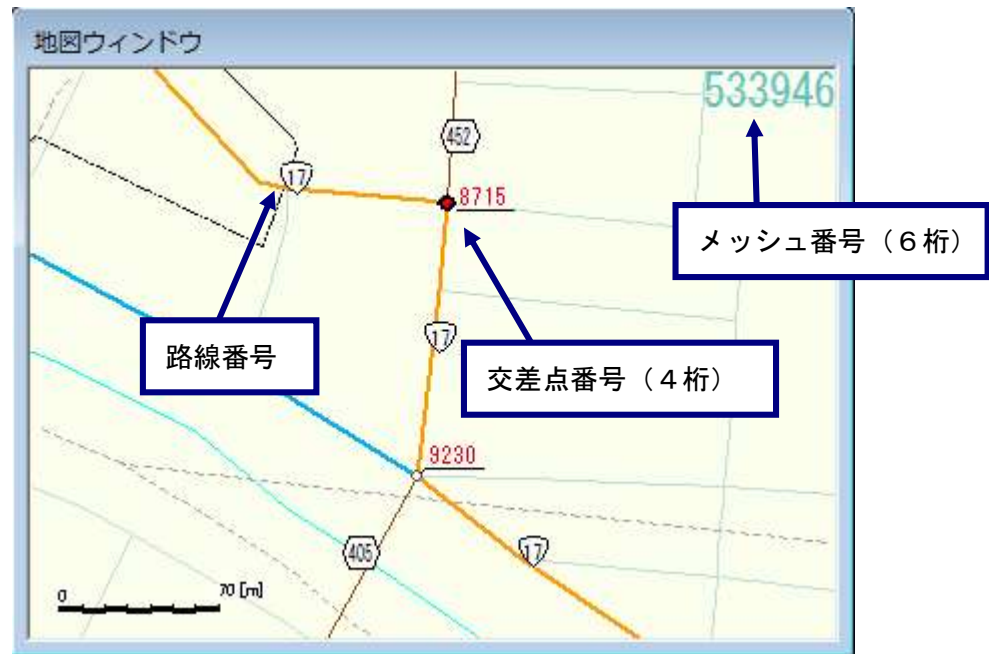


図 2-2-1 地図ウィンドウ

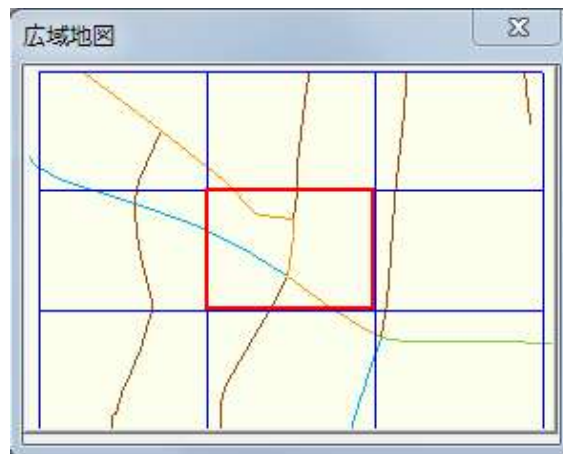



図 2-2-2 広域ウィンドウ

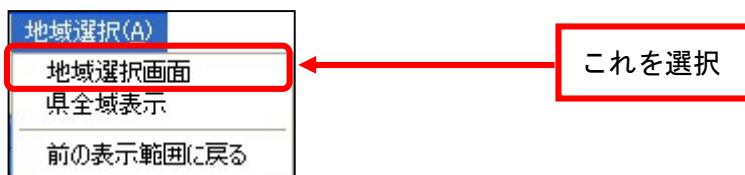


図 2-2-3 凡例ウィンドウ

システム起動時に広域ウィンドウ及び凡例ウィンドウは常に非表示となっています。表示方法などは[第3章の3-2 広域地図ウィンドウ](#)、[3-3 凡例ウィンドウ](#)を参照してください。

2-3 地域選択画面

ツールバーのボタンをクリック、
または、メニューバーの[地域選択]→[地域選択画面]を選択してください。




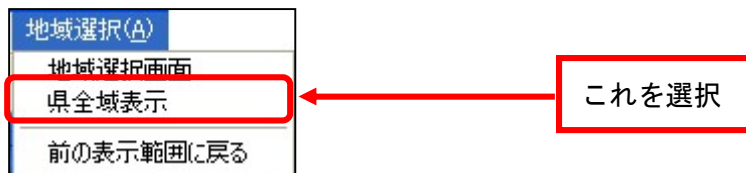
起動時に表示されたものと同じ都道府県の選択画面が表示されます。表示したい県をクリックしてください。選択をキャンセルして地図ウィンドウに戻る場合はダイアログ右上の×ボタンをクリックしてください。



図 2-3-1 地域選択画面

2-4 県全域表示

ツールバーの  ボタンをクリック、
または、メニューバーの[地域選択]→[県全域表示]を選択してください。

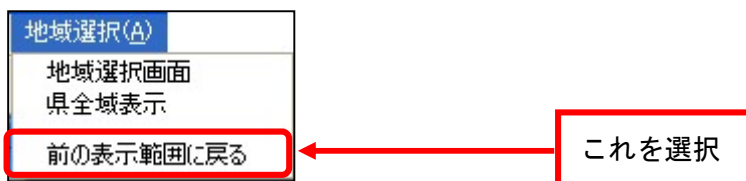


起動時に選択した県または地域選択にて選択した県全域の範囲を瞬時に表示します。

2-5 前の表示範囲に戻る

この機能は一つ前の表示範囲を表示する機能です。連続して使用することで現在の表示範囲と一つ前の表示範囲を交互に表示できます。


メニューバーの[地域選択]→[前の表示範囲に戻る]を選択してください。

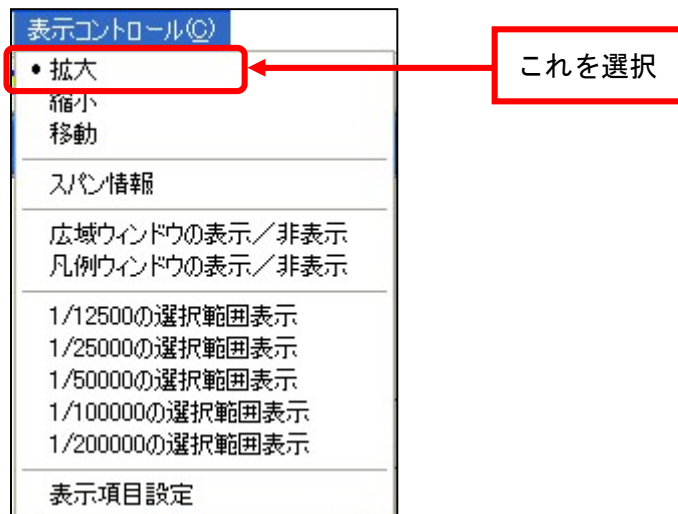


※ 起動直後や地域選択、県全域表示を行なった直後では使用できません。

2-6 基本機能（拡大、縮小、移動）

1. 1点拡大

ツールバーの  ボタンをクリック、
または、メニューバーの[表示コントロール]→[拡大]を選択してください。



マウスを拡大したい中心位置に合わせてクリックします。

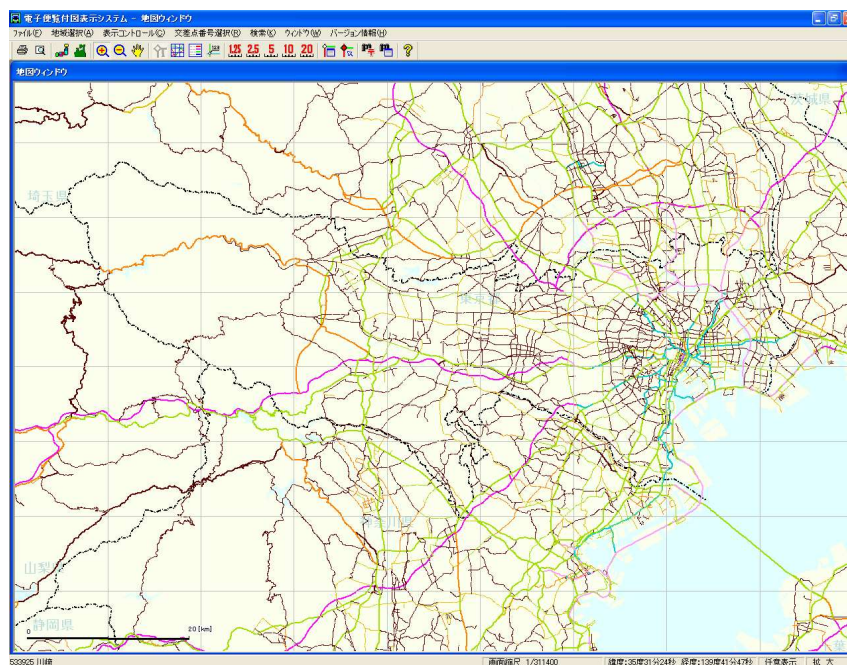


図 2-6-1 拡大前の表示範囲

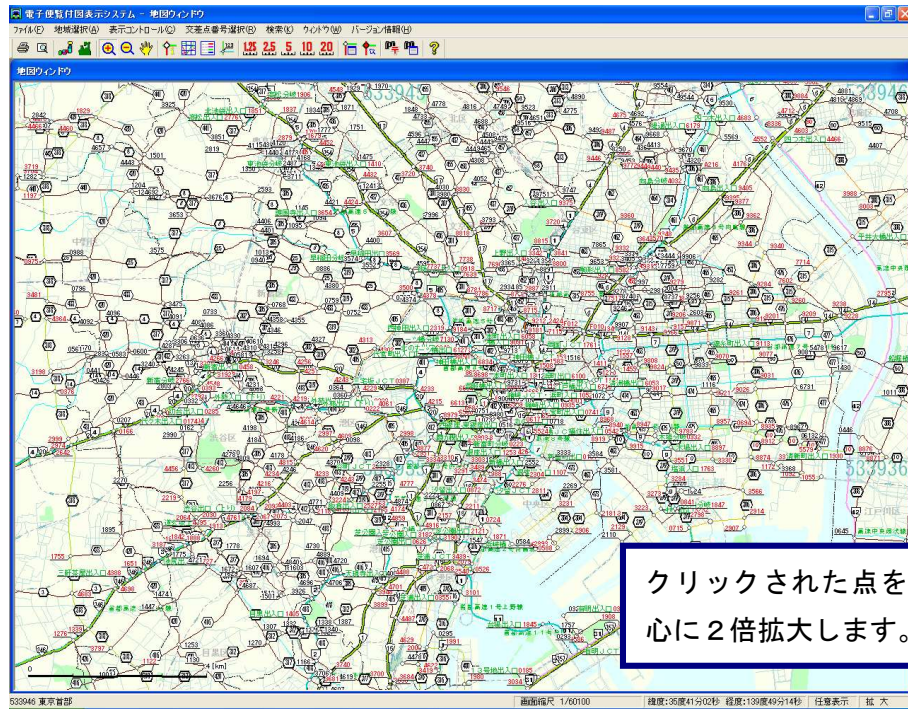



図 2-6-2 拡大後の表示範囲

2. 2点拡大

マウスカーソルを拡大したいエリアの左上に合わせ、マウスを押したまま拡大したいエリアの右下までドラッグします。

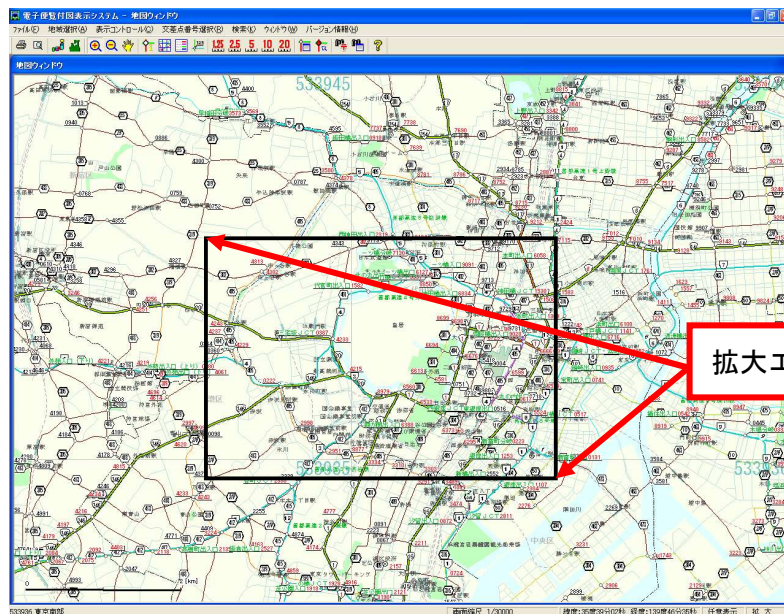


図 2-6-3 2点拡大前の表示範囲

選択したエリアが拡大表示されます。

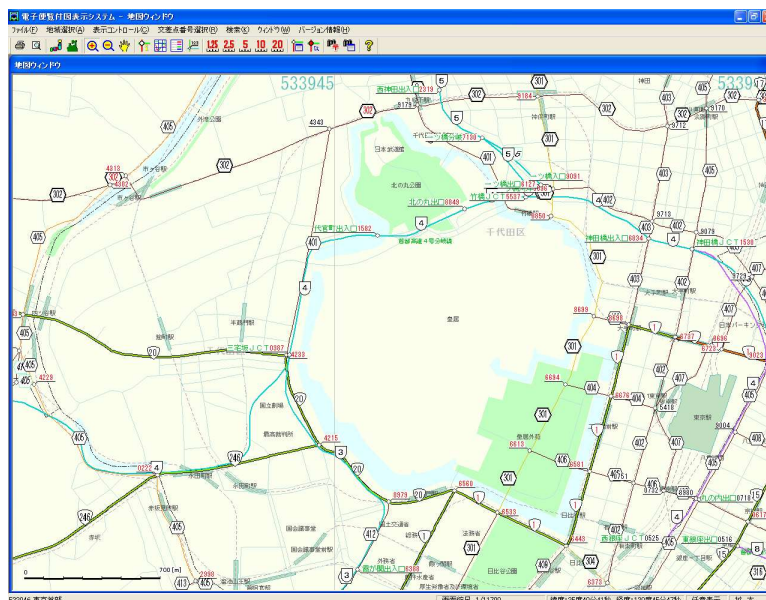

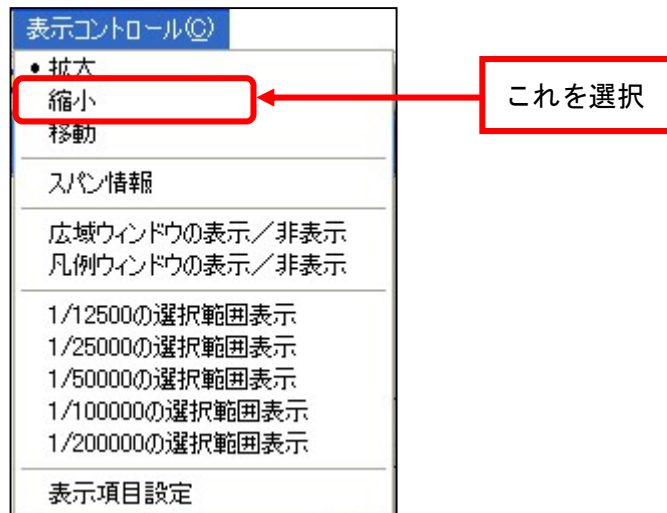


図 2-6-4 2点拡大後の表示範囲

注) 最大拡大範囲は画面の横幅が 250m までです。それ以上の拡大はできません。

3. 縮小

ツールバーの ボタンをクリック、
または、メニューバーの[表示コントロール]→[縮小]を選択してください。



マウスを縮小したい中心位置に合わせてクリックします。

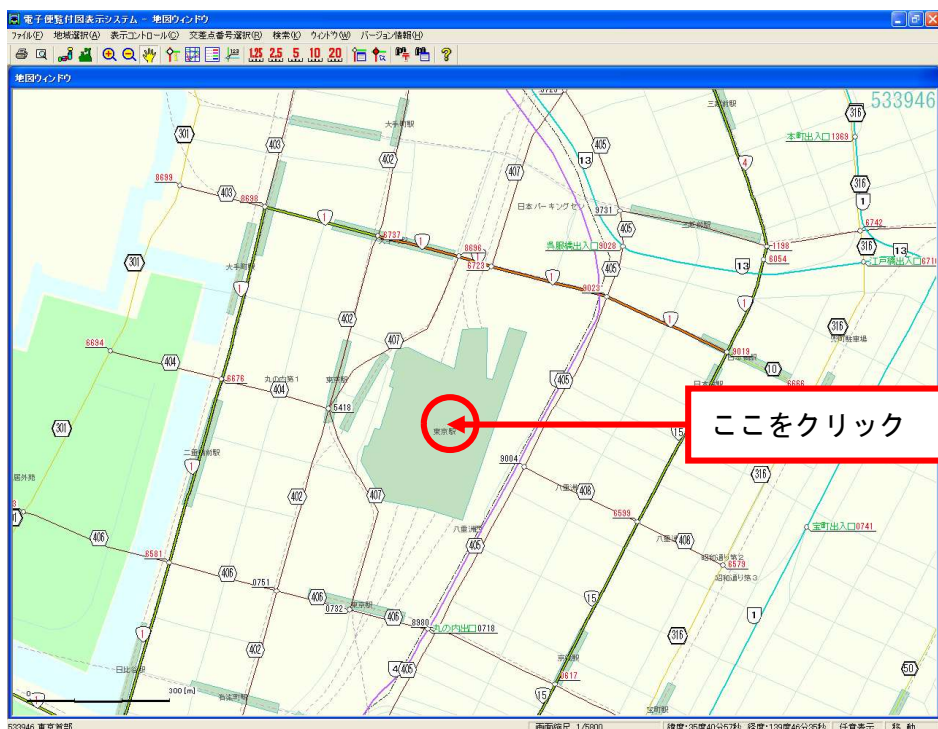


図 2-6-5 縮小前の表示範囲

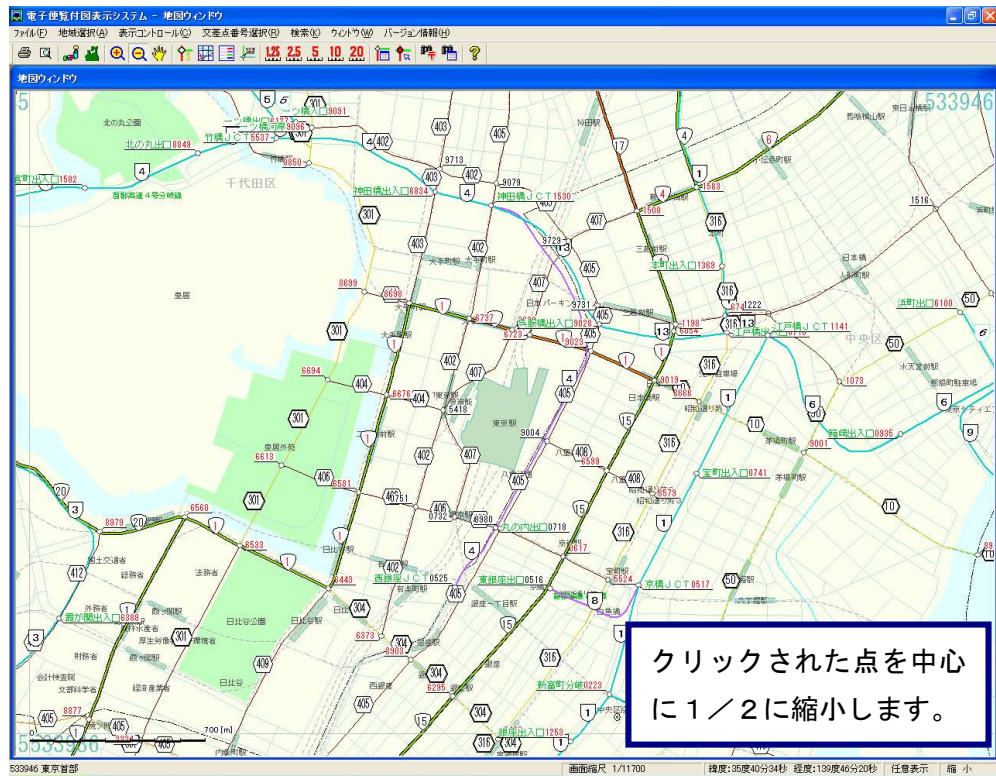
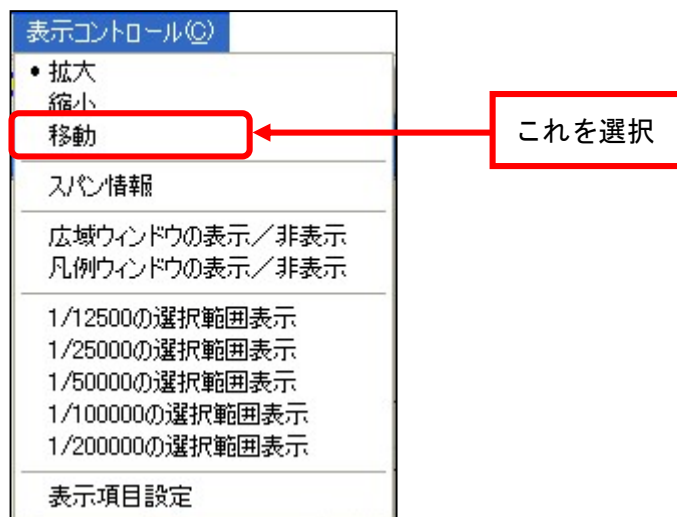


図 2-6-6 縮小後の表示範囲

4. 移動

ツールバーの ボタンをクリック、

または、またはメニューバーの[表示コントロール]→[移動]を選択してください。



画面にマウスを押したまま、移動したい方向にマウスをドラッグします。

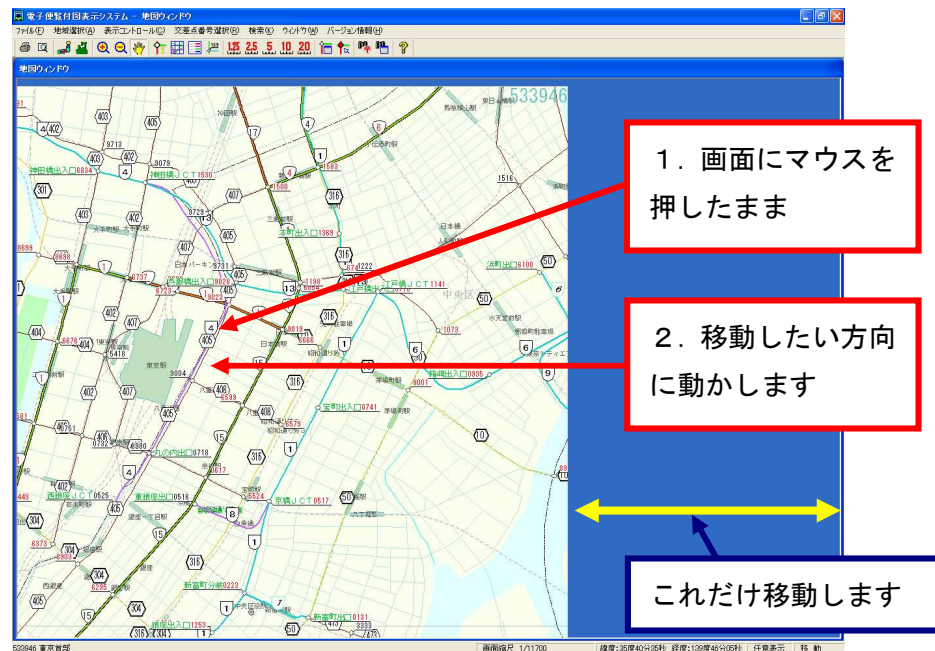


図 2-6-7 移動前の表示範囲

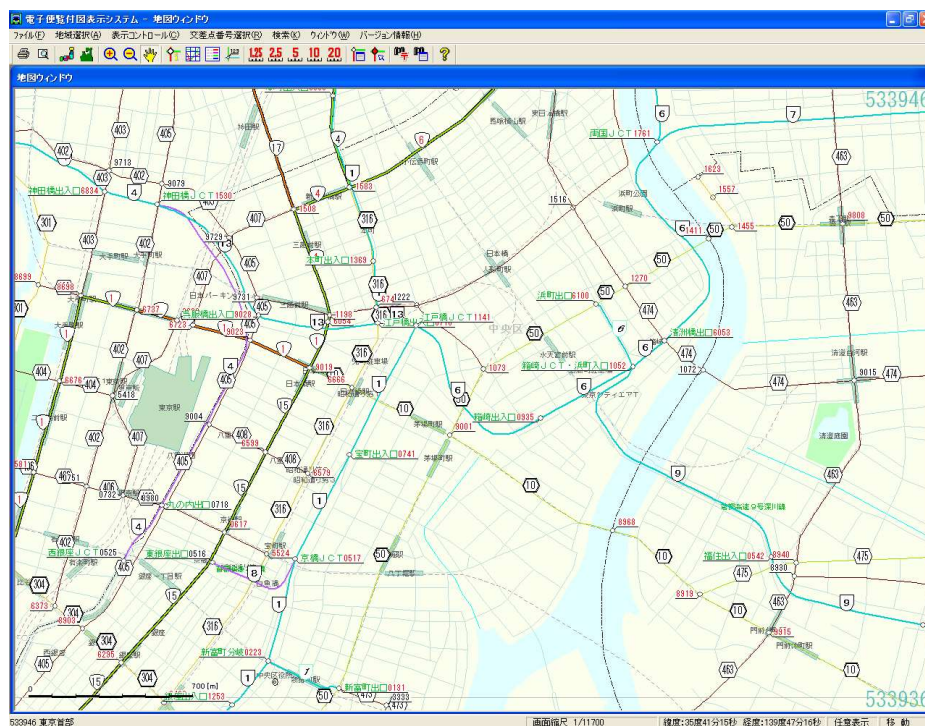



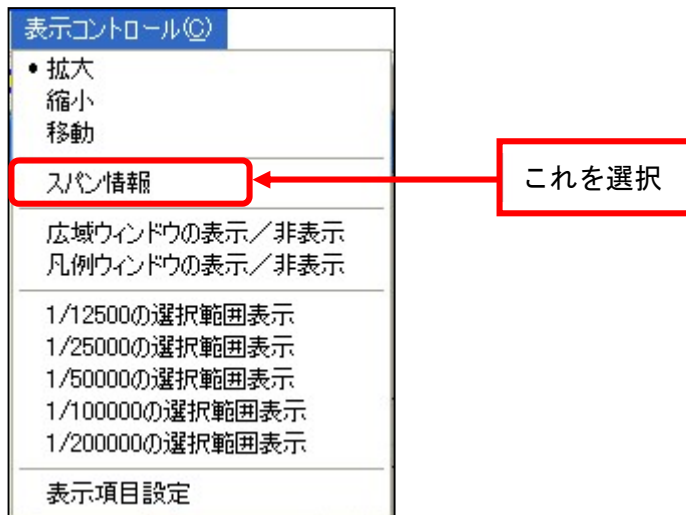
図 2-6-8 移動後の表示範囲

ホイールマウスを使用している場合、移動しながらホイールマウスのホイールを奥にまわすことで拡大、手前に回すことで縮小することができます。

第3章 表示コントロール

3-1 スパン情報

ツールバーの  ボタンをクリック、
または、メニューバーの[表示コントロール]→[スパン情報]を選択してください。



情報を参照したいスパンをクリックすると、スパン情報が表示される。

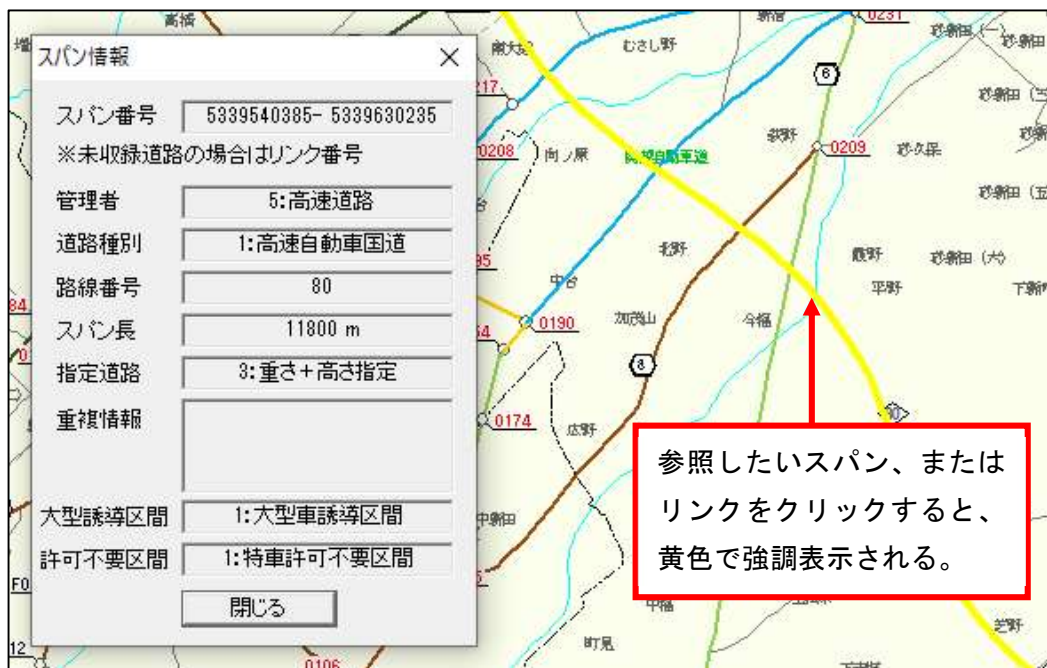


図 3-1-1 リンク情報表示画面

スパン情報

スパン番号 5339466533- 5339466560

※未収録道路の場合はリンク番号

管理者 1: 地方整備局

道路種別 2: 一般国道

路線番号 1

スパン長 260 m

指定道路 3: 重さ+高さ指定

重複情報 2: 一般国道 20

大型誘導区間

許可不要区間

閉じる

スパン情報が表示される

図 3-1-2 スパン情報

スパン情報ボタンが押されている間は、スパンをクリックするとスパン情報が参照できます。スパン情報ダイアログを閉じると地図上の強調表示を解除します。

特車未収録道路を選択した場合は、特車スパンの情報ではなくリンク情報を表示します。その時の指定道路欄は「未収録道路」と表示されます。

重複路線情報は選択した特車スパンが重複情報を持っているときのみ表示されます。図 3-1-2 の例では、一般国道 1 号線と一般国道 20 号線が重複路線となっていることがわかります。

「大型誘導区間」には、選択したスパンが大型車誘導区間の場合に「1:大型車誘導区間」と表示されます。

「特車不要区間」には、選択したスパンが特車許可不要区間の場合に「1:特車許可不要区間」と表示されます。

※ 起動直後や地域選択、県全域表示を行なった直後は使用できません。

【未収録道路の情報表示】

地図上で未収録道路を選択した場合、道路種別が「その他道路」で道路管理者が「未調査」の場合は、管理者欄に当該市町村の「〇〇市等」と表示されます。複数の市町村を跨ぐ区間は複数の市町村が表示されます。また、道路種別欄には「市町村道他」と表示されます。

図 3-1-3 に市区町村境界を跨ぐ未収録道路の情報表示例を示します。



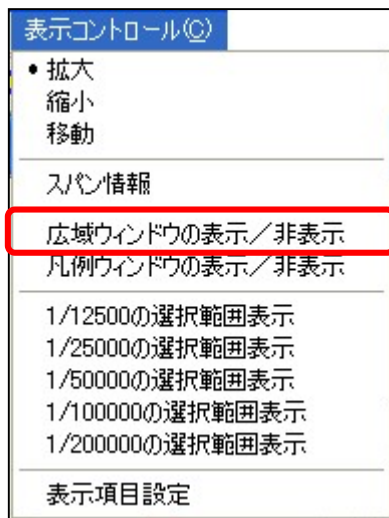
図 3-1-3 未収録道路の情報表示

3-2 広域地図ウィンドウ

1. 広域ウィンドウの表示／非表示

ツールバーの ボタンをクリック、

または、メニューバーの[表示コントロール]→[広域ウィンドウの表示／非表示]を選択してください。



これを選択



広域ウィンドウが表示される

図 3-2-1 広域ウィンドウ表示画面

もう一度ボタンを押すと広域地図ウィンドウを閉じます。



図 3-2-2 広域ウィンドウ


地図ウィンドウの表示範囲を中心とした8つに分割された広域地図ウィンドウが表示されます。ただし、地域選択時、県全域表示及び地図ウィンドウに表示されている範囲の横幅が 80km を超えるような場合には広域地図ウィンドウに地図は表示されません。

広域地図ウィンドウの8つに分割されたウィンドウをマウスでクリックすると地図ウィンドウにその範囲を表示します。地図を印刷する際に、隣どうしをきっちりつなげたい場合に非常に有用な機能です。

※ 広域地図ウィンドウは地図ウィンドウをアクティブにすると後ろに隠れてしまいます。そのときは「メニュー」→「ウィンドウ」→「広域地図」をクリックするか一度ボタンをクリックして広域地図を閉じてからもう一度ボタンをクリックして広域地図ウィンドウを表示して下さい。

3-3 凡例ウィンドウ

1. 凡例ウィンドウの表示／非表示

ツールバーのボタンをクリック、

または、メニューバーの[表示コントロール]→[凡例ウィンドウの表示／非表示]を選択してください。

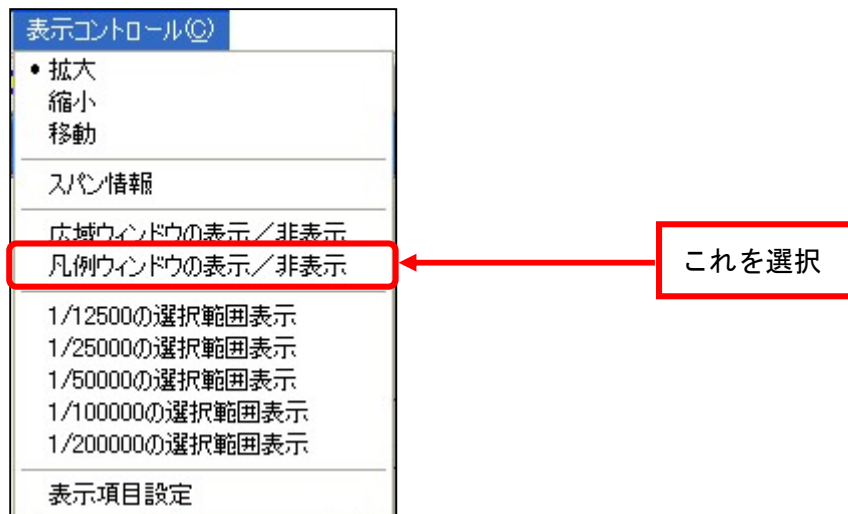


図 3-3-1 凡例ウィンドウ表示画面

もう一度ボタンを押すと凡例ウィンドウを閉じます。




図 3-3-2 凡例ウィンドウ

凡例は縦にスクロールバーが付いています。続きを表示するにはスクロールバーを動かします。

※ 凡例ウィンドウは地図ウィンドウをアクティブにすると後ろに隠れてしまいます。そのときは「メニュー」→「ウィンドウ」→「地図凡例」をクリックするか一度ボタンをクリックして凡例ウィンドウを閉じてからもう一度ボタンをクリックして凡例ウィンドウを表示して下さい。

3-4 未収録交差点番号の表示

ツールバーの  ボタンをクリックすると、未収録交差点番号の表示スイッチをオンにします。この状態で地図を拡大していくと未収録交差点番号を青字で表示します。

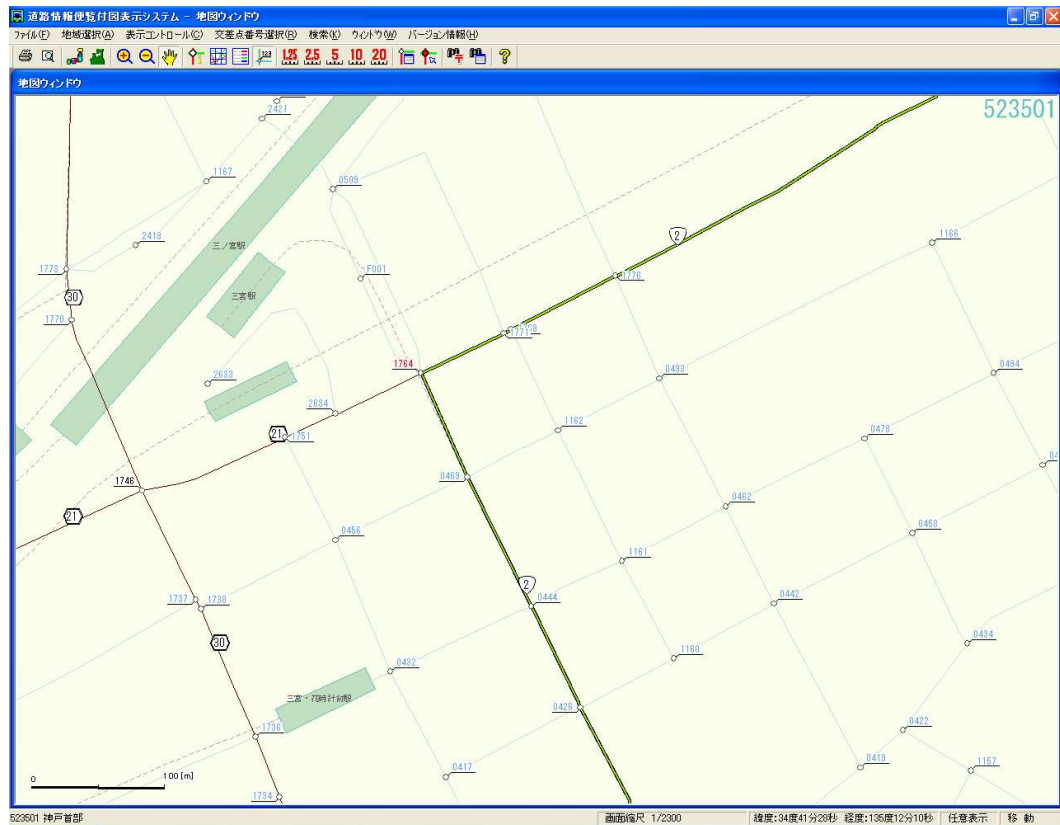


図 3-4-1 未収録交差点番号表示画面

初期起動時の設定では地図表示範囲の横幅が 1km 以下になったときに未収録交差点番号のスイッチがオンになっていた場合、青字で未収録交差点番号を表示します。

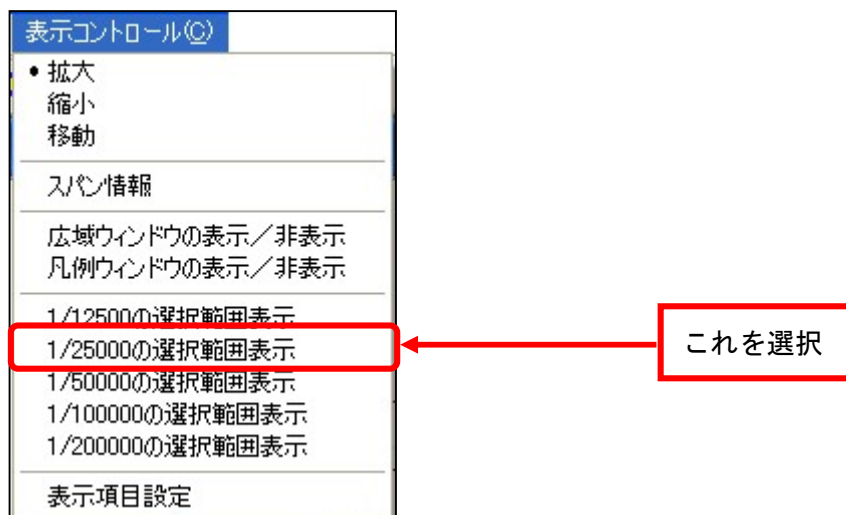
ただし、表示範囲の設定を変更することはできません。また、印刷時には未収録交差点番号は表示しません。

表示項目設定に関しては[第3章の3-6表示項目設定](#)を参照してください。

3-5 区画選択表示

ツールバーの  ボタンをクリック、

または、メニューバーの[表示コントロール]→[1/25000 の選択範囲を表示]を選択してください。



区画選択表示で選択できる範囲は 1/12500、1/25000、1/50000、1/100000、1/200000 の5つです。ツールバーもしくはメニューバーから選択します。上の例では 1/25000 を選択しています。このモードは地図の表示範囲を各区画の範囲にいっぱいに表示します。印刷の際に区画印刷したい場合はこのモードで地図を表示します。

※ 地図を表示したあと拡大、縮小、移動、検索などの操作を行なうと区画印刷モードは解除され画面印刷モードに切り替わります。

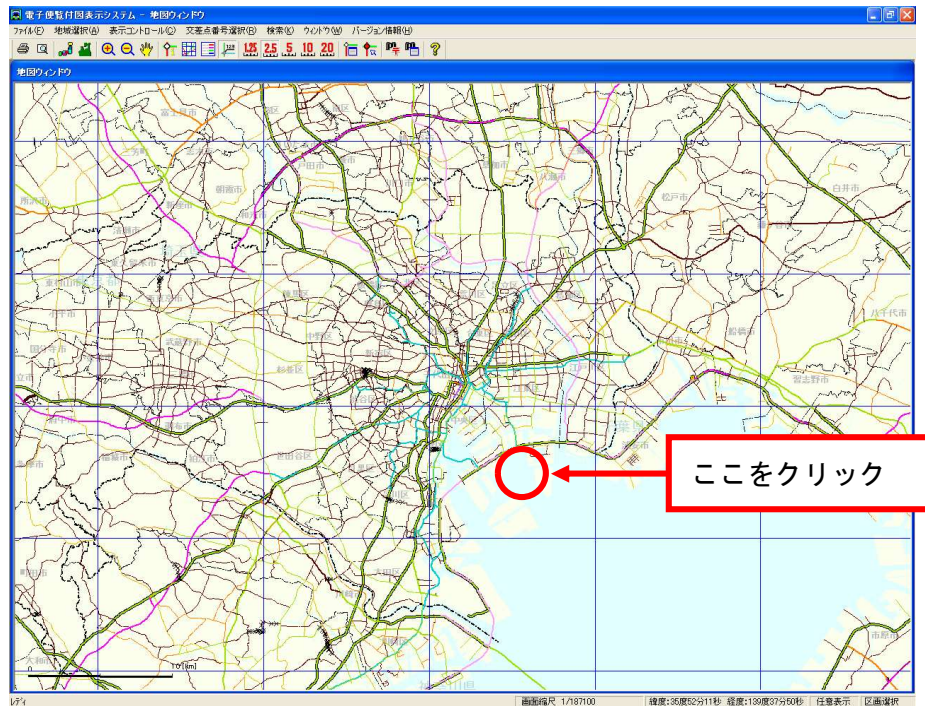


図 3-5-1 区画選択画面

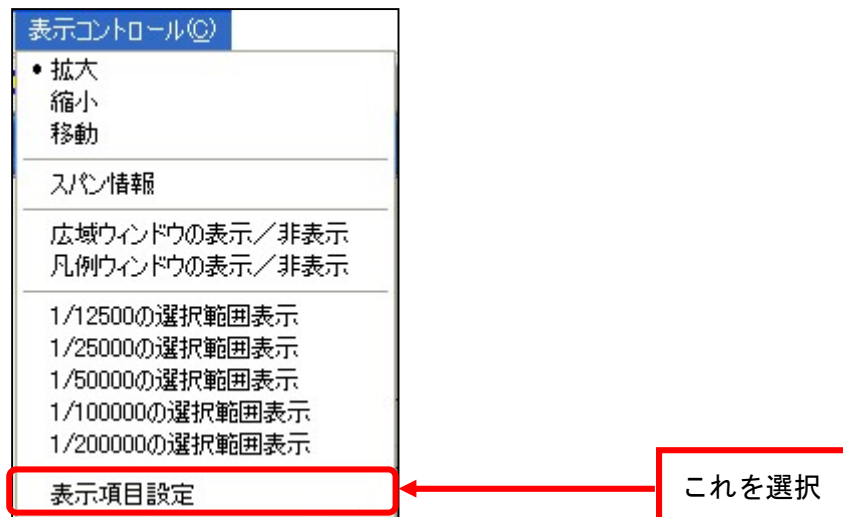
区画を選択すると、青色の格子線が表示されます。この状態でどこかクリックするとクリックした範囲を含む区画の範囲を表示します。



図 3-5-2 区画範囲表示画面

3-6 表示項目設定

メニューバーの[表示コントロール]→[表示項目設定]を選択してください。



ここでは、特車交差点番号、路線マークといった地図に表示している項目の表示／非表示を設定することができます。また、数値が入力できる項目に関しては表示範囲での表示／非表示を設定することができます。

チェックボックスにチェックを付けることでその項目を表示に設定、チェックをはずすことでその項目を非表示に設定します。

項目の右側に数字が入力してあるものは表示／非表示以外に地図の表示範囲の横幅での表示／非表示が設定できます。例えば、地図の表示範囲が 50km の時にデフォルトでは特車交差点番号は表示しませんが、「60000」と入力すれば表示することができます。

以下はデフォルトの設定です。数字の単位は m（メートル）

- ・ 特車交差点番号 : チェックあり 横幅 40000m
- ・ 未収録交差点番号 : チェックなし 横幅 1000m で固定。変更できません。
- ・ 路線マーク : チェックあり 横幅 40000m
- ・ I C ・ J C T 名 : チェックあり
- ・ 道路名 : チェックあり
- ・ 指定道路 : チェックあり
- ・ 大型車誘導区間 : チェックあり
- ・ 都道府県界 : チェックあり 横幅 99999999m
- ・ 市町村界 : チェックあり 横幅 80000m

- ・ 鉄道 : チェックあり 横幅 40000m
- ・ 線水系 : チェックあり 横幅 40000m
- ・ 面水系 : チェックあり 横幅 99999999m
- ・ 施設形状 : チェックあり 横幅 40000m
- ・ 地名 : チェックあり 横幅 10000m
- ・ 施設名 : チェックあり 横幅 10000m
- ・ 県名 : チェックあり
- ・ 市町村名 : チェックあり
- ・ 表示干渉チェック : チェックなし
- ・ 印刷時の凡例表示 : チェックあり

表示項目設定

ここで表示／非表示の設定

道路表示

☒ 特筆交差点番号 40000 m

☐ 未収録交差点番号 40000

☒ 路線マーク

☒ IC・JCT名

☒ 道路名

☒ 指定道路

☒ 大型車誘導区間

背景表示

☒ 都道府県界 99999999 m

☒ 市町村界 80000

☒ 鉄道 40000

☒ 線水系 40000

☒ 面水系 99999999

☒ 施設形状 40000

☒ 地名 10000

☒ 施設名 10000

☒ 県名

☒ 市町村名

☐ 印刷時の表示干渉チェック

☒ 印刷時の凡例表示

画面の横幅 16802 m

OK キャンセル

表示範囲は画面の横幅が指定した範囲よりも小さいときに表示します。

ここに表示する横幅を設定

図 3－6－1 表示項目設定ダイアログ


第4章 交差点番号選択

この機能は特車交差点番号の簡易入力機能です。この機能を使用して簡易的な通行経路データを作成することができます。

[illegible]

図 4 交差点番号一覧表

4-1 交差点番号一覧表

ツールバーのボタンをクリック、
または、メニューバーの[地域選択]→[交差点番号一覧表]を選択してください。

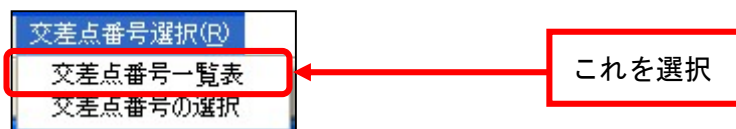

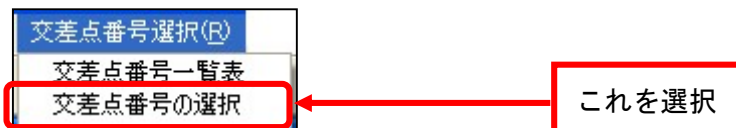



図 4 の交差点番号一覧表を表示します。もう一度クリックすると交差点番号一覧表を閉じます。

4-2 交差点番号の選択

ツールバーのボタンをクリック、
または、メニューバーの[地域選択]→[交差点番号の選択]を選択してください。



マウスの入力モードを交差点番号入力モードに変更するとともに交差点番号一覧表を表示します。

このままの状態では地図上の交差点番号の表示されている場所をクリックすると交差点番号を 1 件登録します。登録した順番に交差点番号のデータが作成されます。登録できる交差点番号の上限が 250 個となっています。

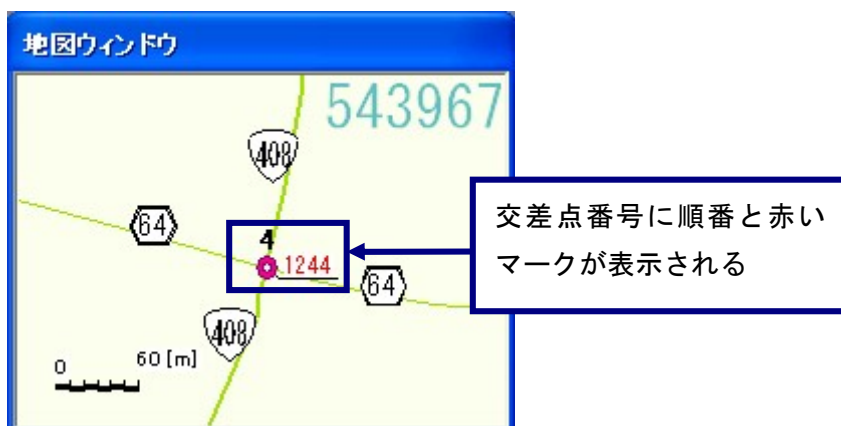



図 4-2-1 交差点番号の選択時の強調表示

4-3 交差点番号の挿入

図 4 の交差点番号一覧表に表示されている交差点番号を一つ選択します。挿入ボタ

ンをクリックするとマウスカーソルが  に変更されます。この状態で地図上の交差点番号をクリックすると交差点番号一覧表で選択した行に今クリックした交差点番号が挿入されます。

2 行目の交差点番号に新しい交差点番号が挿入されている

選択特車交差点番号一覧

No	メッシュ番号	4桁番号
<input type="checkbox"/> 1	544060	0103
<input type="checkbox"/> 2	543967	1486
<input type="checkbox"/> 3	543967	1244
<input type="checkbox"/> 4	543967	1150
<input type="checkbox"/> 5	543936	0764
<input type="checkbox"/> 6	543936	0512
<input type="checkbox"/> 7	533976	0023
<input type="checkbox"/> 8	533956	4090
<input type="checkbox"/> 9	533956	0798
<input type="checkbox"/> 10	533946	9485
<input type="checkbox"/> 11	533946	8177
<input type="checkbox"/> 12	533947	2736
<input type="checkbox"/> 13	533947	2333
<input type="checkbox"/> 14	533947	1203

☐ 表示選択(すべて選択)

インポート
挿入
削除

エクスポート
表示
新規

白地図印刷
閉じる
ヘルプ

➡

選択特車交差点番号一覧

No	メッシュ番号	4桁番号
<input type="checkbox"/> 1	544060	0103
<input type="checkbox"/> 2	543967	1489
<input type="checkbox"/> 3	543967	1480
<input type="checkbox"/> 4	543967	1244
<input type="checkbox"/> 5	543967	1150
<input type="checkbox"/> 6	543936	0764
<input type="checkbox"/> 7	543936	0512
<input type="checkbox"/> 8	533976	0023
<input type="checkbox"/> 9	533956	4090
<input type="checkbox"/> 10	533956	0798
<input type="checkbox"/> 11	533946	9485
<input type="checkbox"/> 12	533946	8177
<input type="checkbox"/> 13	533947	2736
<input type="checkbox"/> 14	533947	2333
<input type="checkbox"/> 15	533947	1203

☐ 表示選択(すべて選択)

インポート
挿入
削除

エクスポート
表示
新規

白地図印刷
閉じる
ヘルプ

リストを選択すると挿入ボタンが押せるようになる

図 4-3-1 交差点番号の挿入

2 行目に 5439671489 の交差点番号を挿入したことによりもともとの 2 番目以降が下にずれます。

4-4 交差点番号の削除

図 4-4-1 の交差点番号一覧表に表示されている交差点番号を選択します。Shift キーを押しながら範囲選択、Ctrl キーを押しながら複数選択ができます。削除ボタンをクリックすると選択した交差点番号が削除されます。

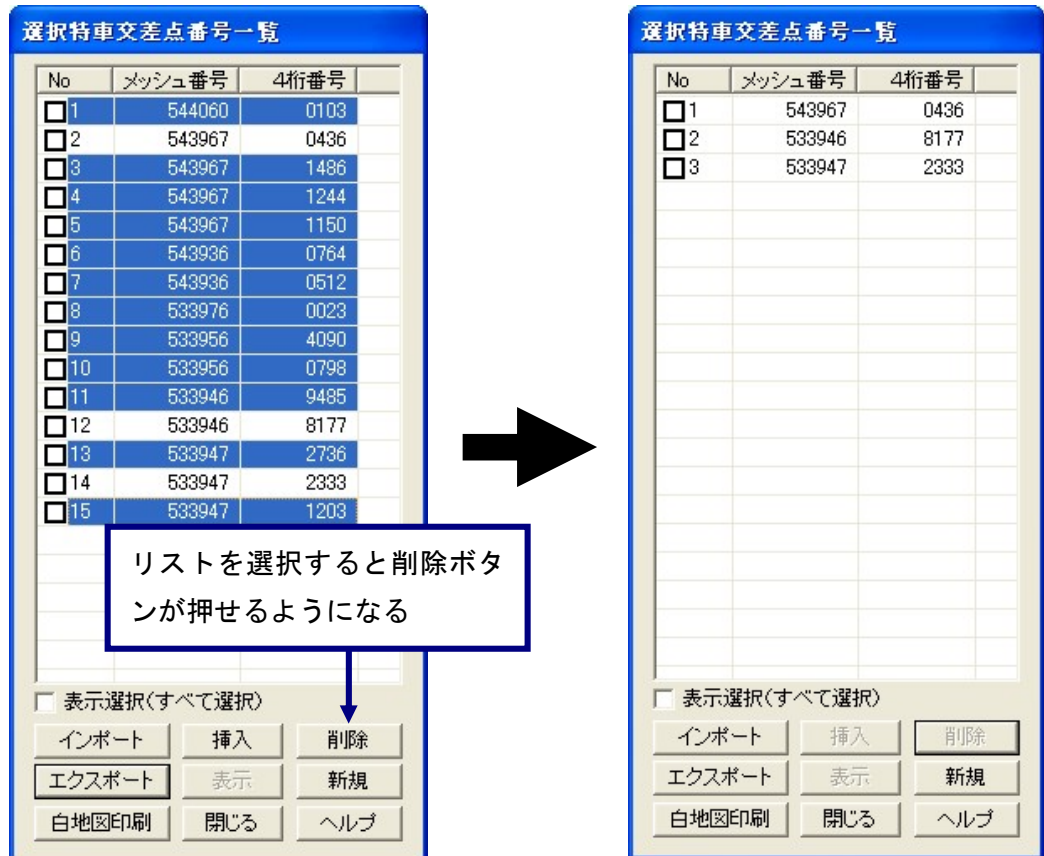


図 4-4-1 交差点番号の削除

4-5 交差点番号の表示

交差点番号一覧表のチェックボックスにチェックを付けた交差点番号が地図ウィンドウに表示されるようにスケーリングして表示します。

交差点番号一覧表の「表示選択（すべて選択）」チェックボックスにチェックを付けると一覧表のすべての交差点番号にチェックをつけます。チェックをはずすと一覧表のすべての交差点番号のチェックをはずします。

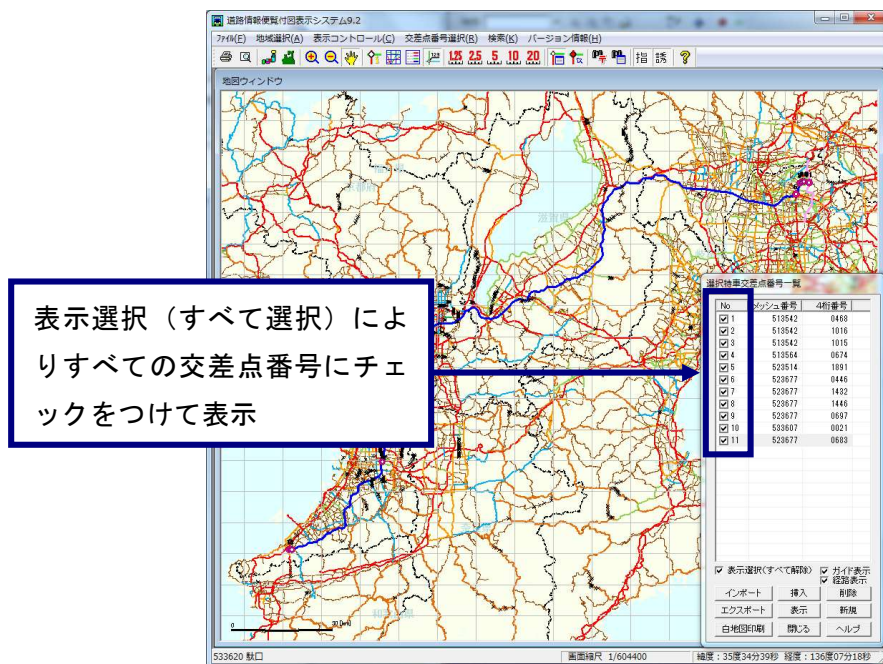


図 4-5-1 全ての交差点番号にチェックをいれた画面

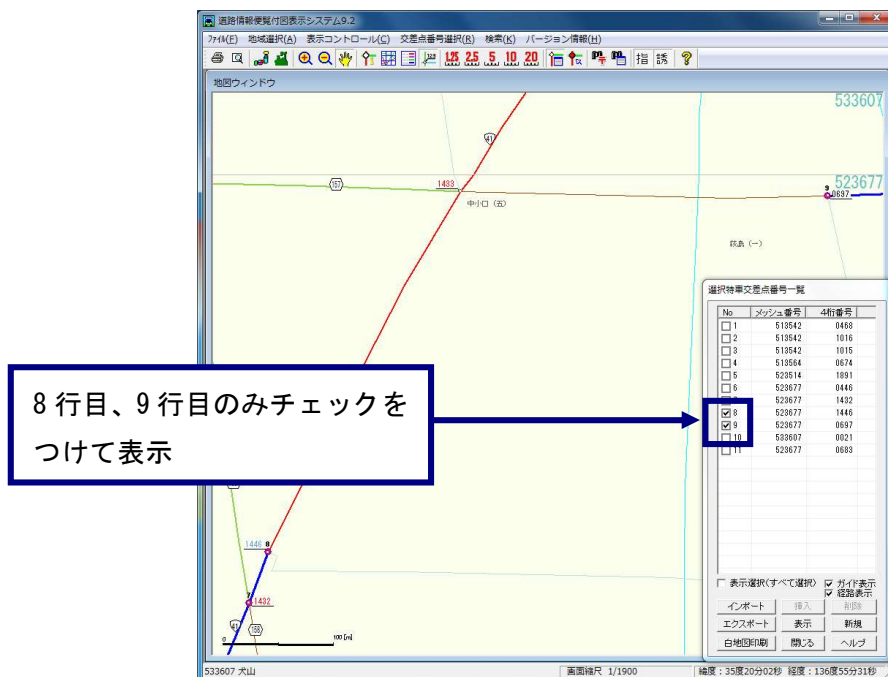


図 4-5-2 8行目と9行目にチェックいれた画面

4-6 新規

現時点で登録されている交差点番号をすべて破棄して、新規入力状態にします。

4-7 エクスポート

本システム上で入力編集した交差点番号データを任意のファイル名で保存します。

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されたら任意のファイル名を付けてください。

ファイル名の入力欄の初期表示は「特車経路一覧 0000000000.dfz」となっています。
0000000000 の部分は 1 つ目の交差点番号が自動的に表示されます。それ以外の名前を
付けたい場合は他の名前に置き換えてファイルを保存してください。

※ ファイルの拡張子は自動的に dfz となります。

4-8 インポート

4-7 のエクスポートにより出力した交差点番号ファイルを読み込んで、本システム上に交差点番号データをセットします。

「ファイルを開く」ダイアログが表示されたら読み込むファイルを指定してください。
読み込みが完了すると交差点番号一覧と地図ウィンドウに交差点番号を表示します。
ただし、読み込んだ交差点番号がシステム上に存在しなかった場合はその交差点番号
を除いて処理し、処理しなかった交差点番号についてのメッセージを表示します。

※ 読み込むことができるファイルの拡張子は dfz のみとなります。

4-9 白地図印刷

地図ウィンドウに表示中の範囲を色や表示内容を変更した白地図モードで印刷します。「印刷方法の選択」ダイアログが表示されます。

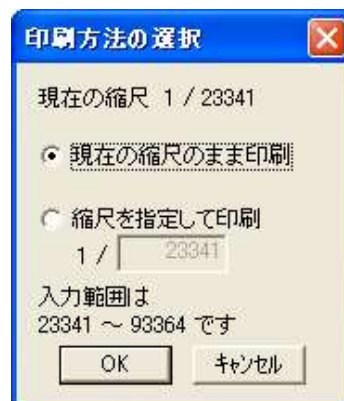


図 4-9-1 印刷方法の選択ダイアログ

デフォルトで選択されているプリンタの設定で印刷された場合の縮尺が表示されます。プリンタまたは用紙を変更する場合はキャンセルをクリックし、メニュー → ファイル → プリンタの設定で変更してください。そのままであれば **OK** を押してください。縮尺を指定する場合は入力範囲内の数字を入力してください。詳細は第6章の6-2 縮尺指定印刷を参照してください。

次にプレビューが表示されますので、印刷をクリックして印刷してください。

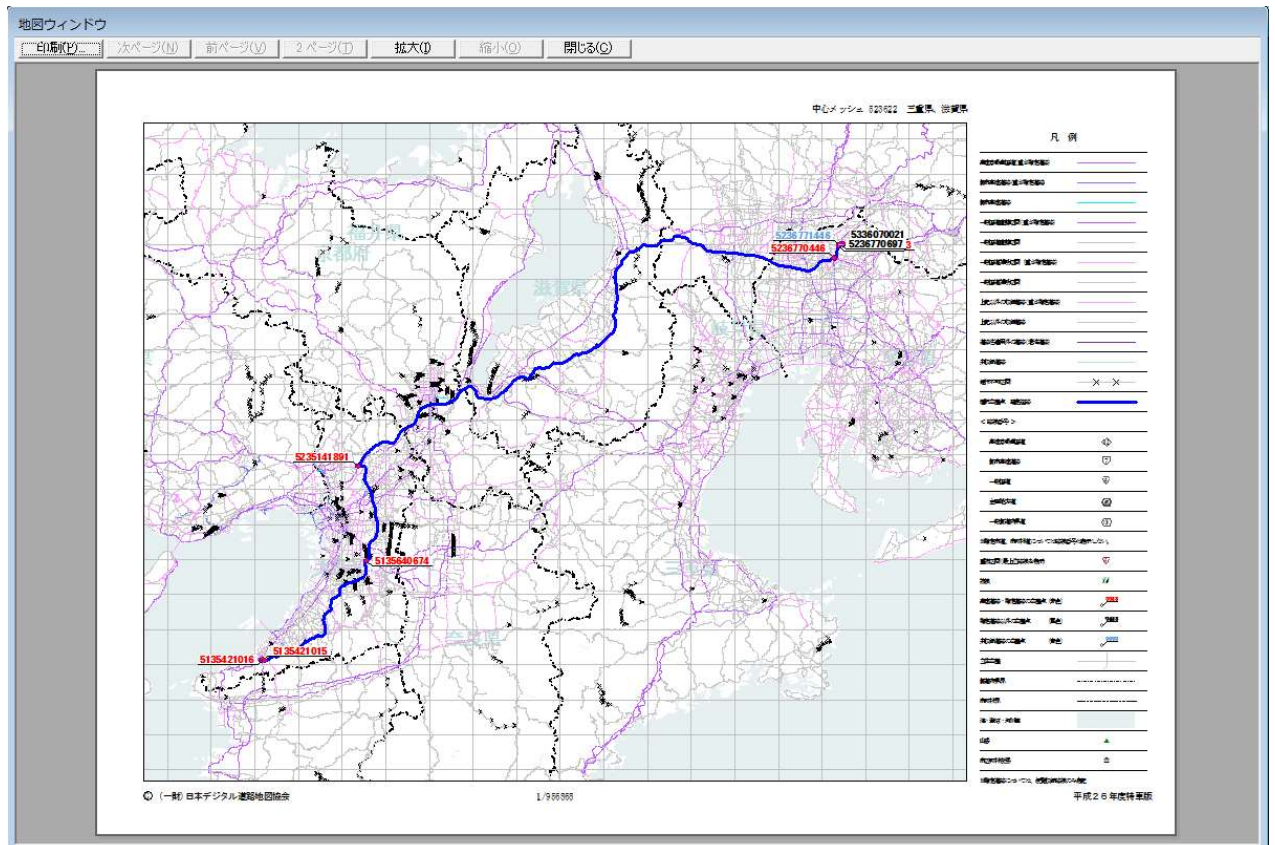


図 4-9-2 白地図印刷プレビュー画面

白地図印刷の場合は鉄道、施設名、線水系は印刷しません。また、交差点番号についても交差点番号選択機能により選択した交差点番号のみ 10 桁（メッシュ番号+4 桁番号）で印刷します。

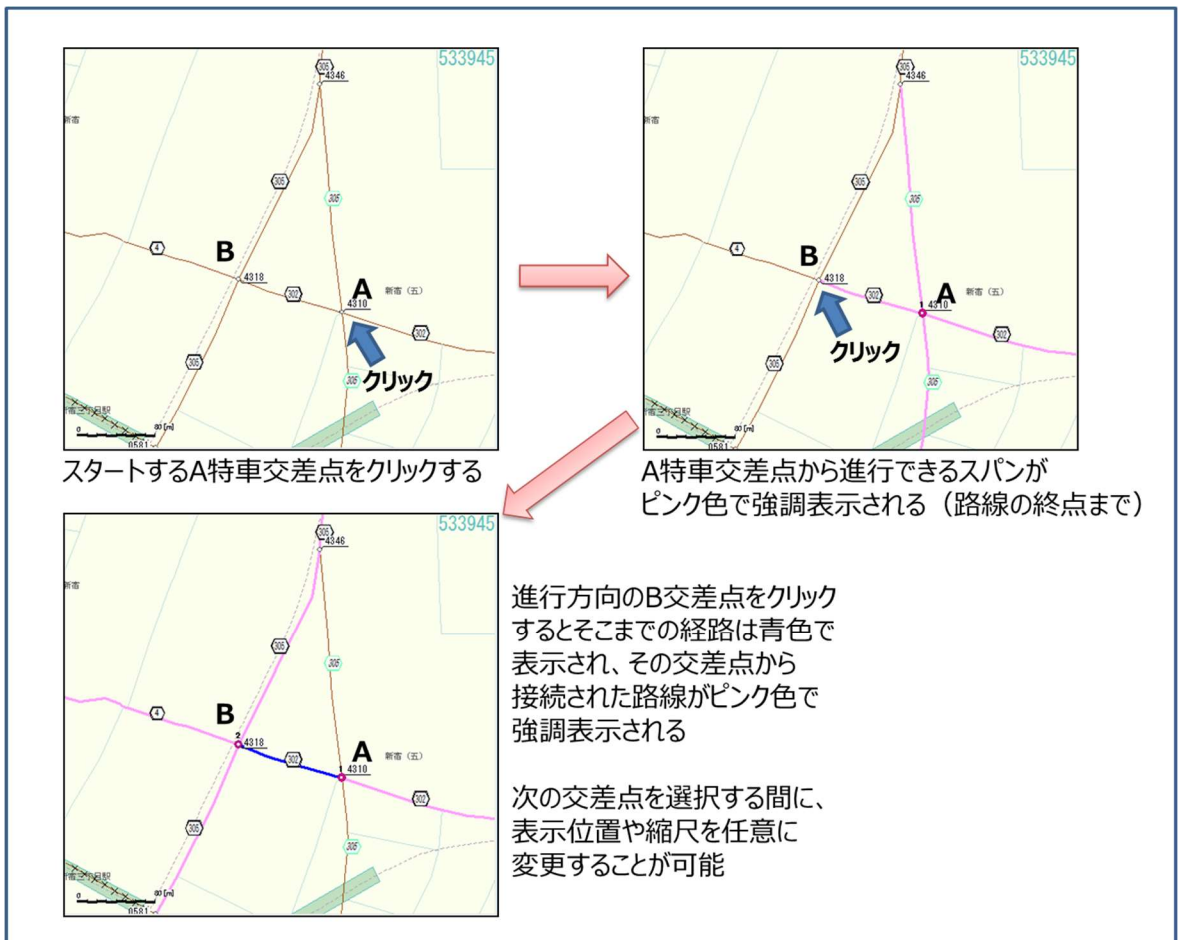
経路表示が確定している区間は青色・太線で表示します。

4-10 進行方向のガイド機能

交差点選択時に進行できる方向の路線を強調表示し、着目している交差点と接続されていることを明確にします。これによって、分岐する交差点を確認しながら申請経路を作成することができます。

強調されていない路線上の特車交差点をクリックしても交差点番号は選択できません。

進行方向のガイドを出す交差点は特車交差点のみです。選択された交差点間が同一路線で繋がっている場合は、その区間経路を青色で強調表示します。また、ガイド機能や選択経路表示のON・OFFスイッチが、「選択特車交差点番号一覧」ダイアログに用意されています。このガイド機能は初期状態でONに設定されています。



4-10-1 交差点番号選択機能の操作例

＜交差点番号選択機能の操作手順＞

- ① ツールバーの交差点番号選択機能ボタンをクリックし、交差点選択モードにします。
- ② 特車交差点をクリックする
一覧表上に選択交差点が1つ追加され、その交差点に接続する路線が強調表示されます。
- ③ 次の特車交差点をクリックする
一覧表上に選択交差点が1つ追加される。
同一路線上（ピンク色で強調されている路線上の交差点）の交差点が選択された場合は、そこまでの経路を青色で強調表示し、接続されている路線をピンク色で強調表示します。次の特車交差点までの経路が同一路線でない場合は、接続路線の強調表示のみ行う。

＜選択特車交差点番号一覧表で経路ファイルをインポートした場合＞


経路ファイルをインポートした場合は、隣あった特車交差点が同一路線上にある場合は、青色で強調表示をする。同一路線上に無い場合は、通過特車交差点を特定できないため、強調表示は行わない。

＜挿入・削除が行なわれた場合＞

特車交差点の挿入・削除が行なわれた場合も「選択特車交差点番号一覧表で経路ファイルをインポートした場合」と同様に経路を特定できる場合はその都度青色で強調表示をする。

第5章 検索

5-1 住所検索

ツールバーの  ボタンをクリック、
または、メニューバーの[検索]→[住所検索]を選択してください。



住所検索ウィンドウでは、左から順番にリストから選択していきます。



図 5-1-1 住所検索ダイアログ

大字・町丁目の一覧に、緑色で表示されている町丁目を選択した場合、地番の情報は存在しない為、地番を選択せずにOKボタンをクリックします。

※ 住所検索データの作成時期によっては市町村合併等により実情と異なる場合があります。

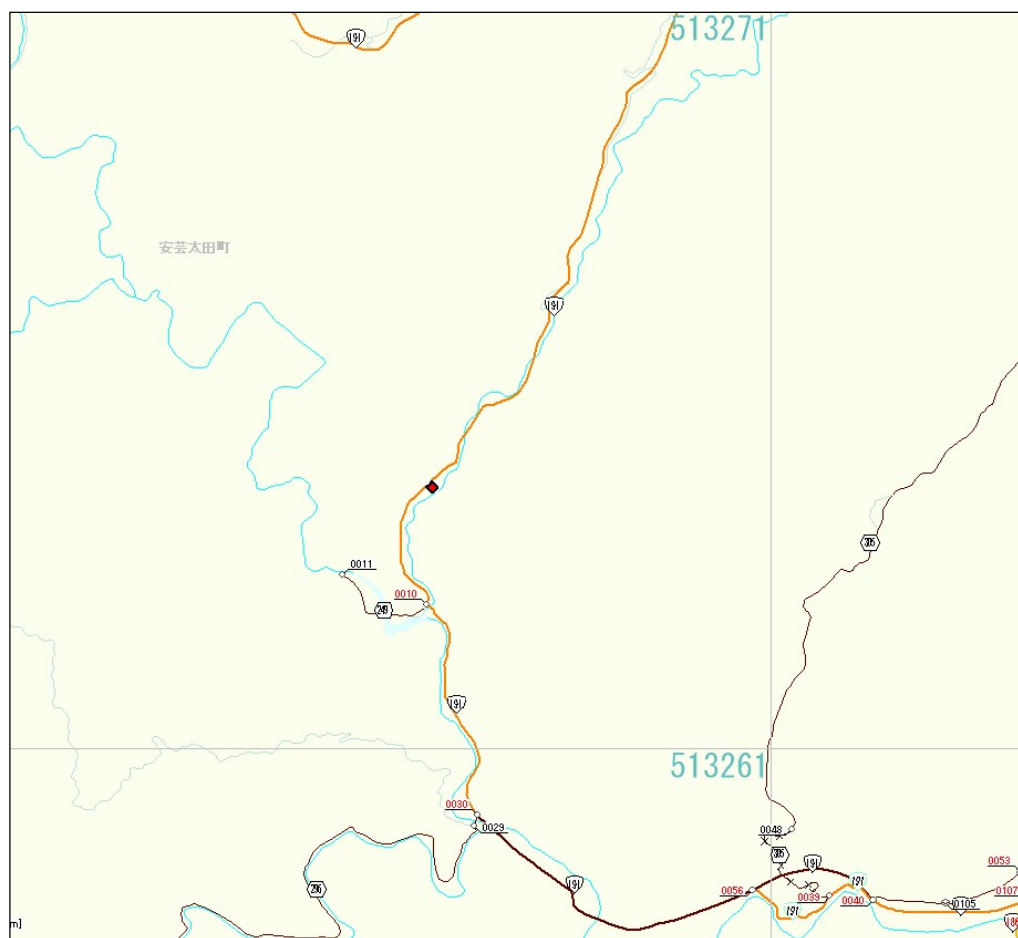




図 5-1-2 住所検索後の画面

選択が完了したら[OK]ボタンを押して住所検索ウィンドウを閉じてください。地図画面が再描画され、入力した住所を中心とする地図が表示されます。

検索位置に  マークを表示します。

5-2 その他の検索


ツールバーの  ボタンをクリック、
または、メニューバーの[検索]→[他の検索]を選択してください。



1. 特車交差点番号検索

検索項目の選択ウィンドウの[特車交差点番号]タブをクリックします。新特車交差点番号での検索の場合は、メッシュ番号（6桁）＋ノード番号（4桁）を入力します。旧特車交差点番号での検索の場合は、6桁の数字を入力します。内容を入力・選択して[OK]ボタンでウィンドウを閉じます。

検索結果の位置を中心とした範囲を表示します。



検索項目の選択

施設名	交差点名	市区町村	路線
特車交差点番号	旧便覧付図		地名

☒ 新特車交差点番号を入力してください。メッシュ番号+4桁番号
例) メッシュ番号 533946 4桁番号 9000
5339469000
5339469019

☐ 旧特車交差点番号を入力してください。6桁番号
0

OK キャンセル

図 5-2-1 [検索項目の選択]-[特車交差点番号]

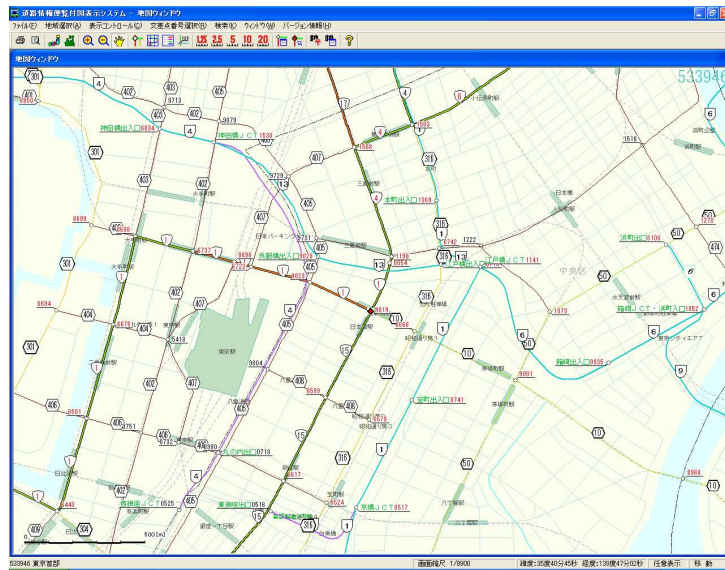



図 5－2-2 [検索項目の選択]-[特車交差点番号]の検索結果

検索位置に  マークを表示します。

2. 旧便覧付図図面検索

検索項目の選択ウィンドウの[旧便覧付図]タブをクリックします。各内容を選択して[OK]ボタンでウィンドウを閉じます。

旧便覧付図に相当する範囲を表示します。

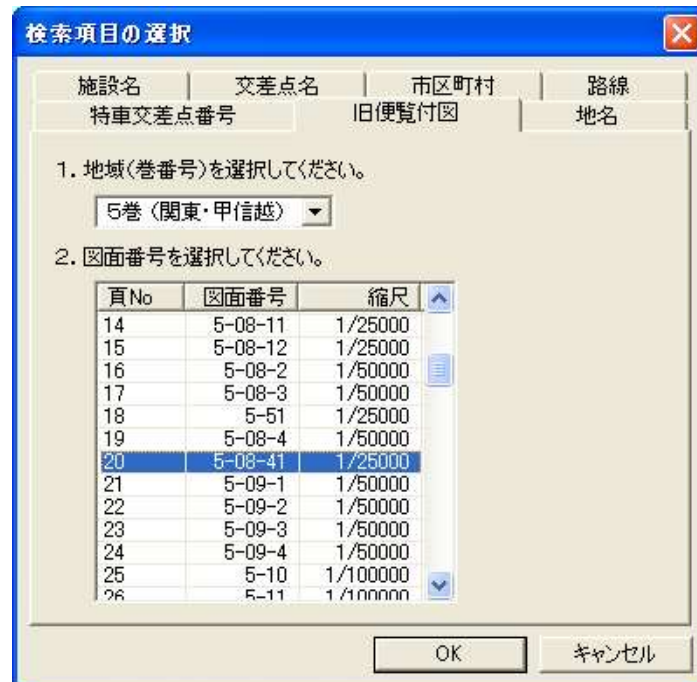


図 5-2-3 [検索項目の選択]-[旧便覧付図]

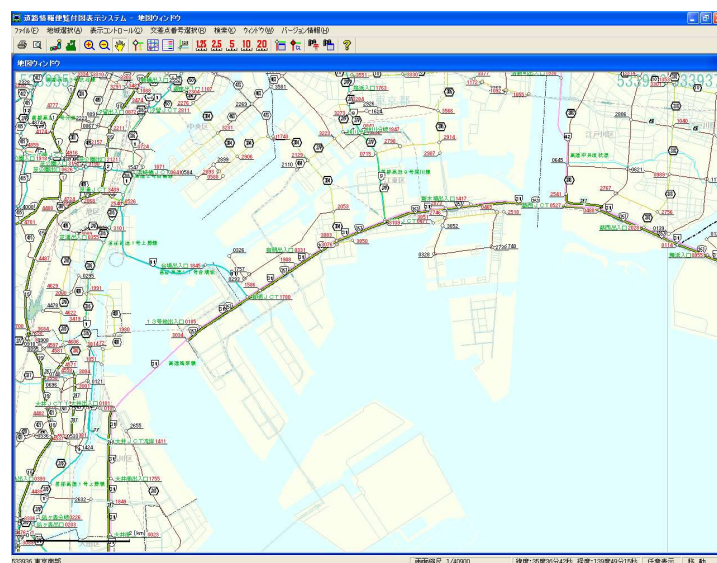


図 5-2-4 [検索項目の選択]-[旧特車便覧]の検索結果

3. 地名検索

検索項目の選択ウィンドウの[地名]タブをクリックします。各項目の内容を入力・選択して[OK]ボタンでウィンドウを閉じます。

検索結果の位置を中心とした範囲を表示します。

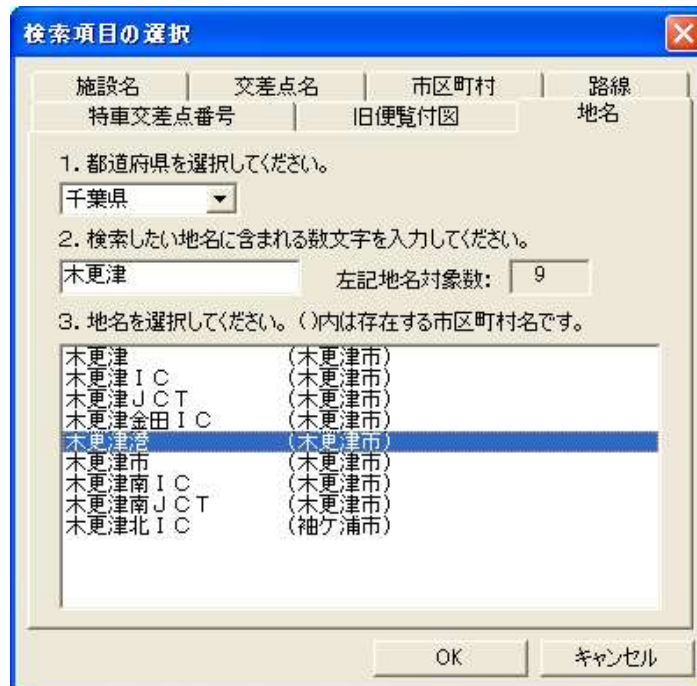


図 5-2-5 「検索項目の選択」-[地名]

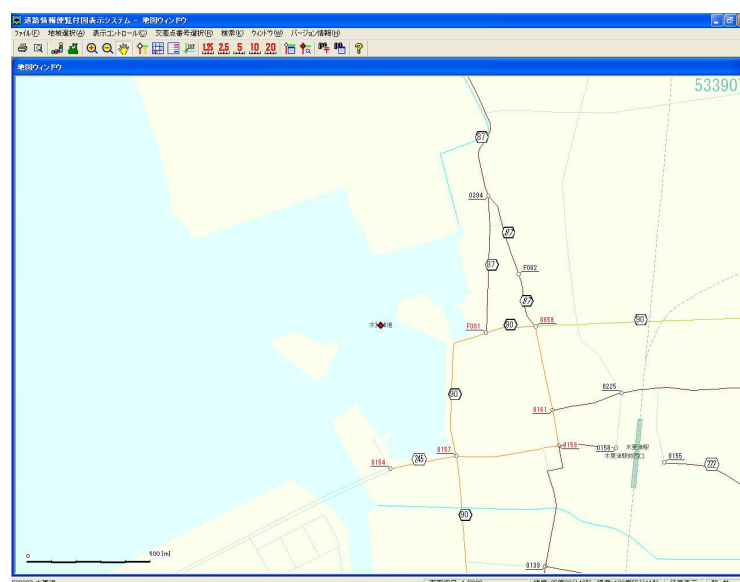



図 5-2-6 「検索項目の選択」-[地名]の検索結果

検索位置に  マークを表示します。

4. 施設名検索

検索項目の選択ウィンドウの[施設名]タブをクリックします。各項目の内容を入力・選択して[OK]ボタンでウィンドウを閉じます。

検索結果の位置を中心とした範囲を表示します。

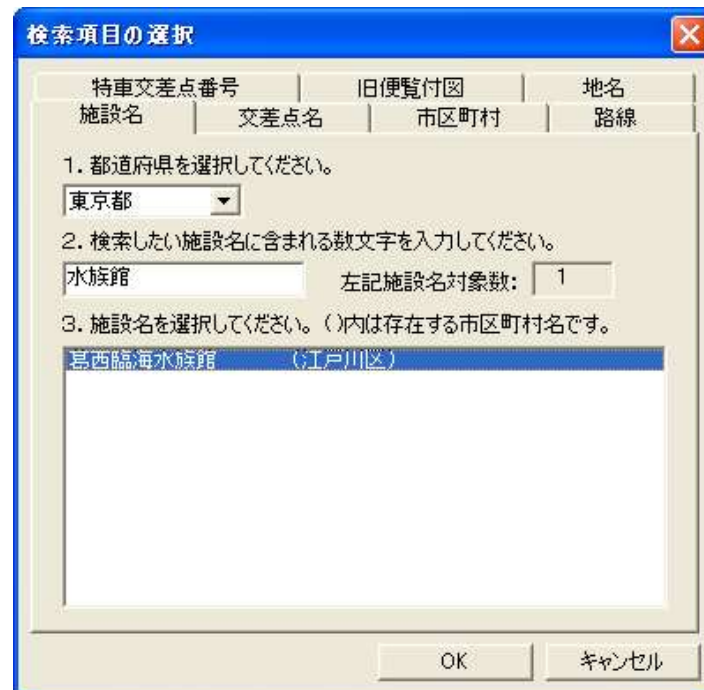


図 5-2-7 [検索項目の選択]-[施設名]

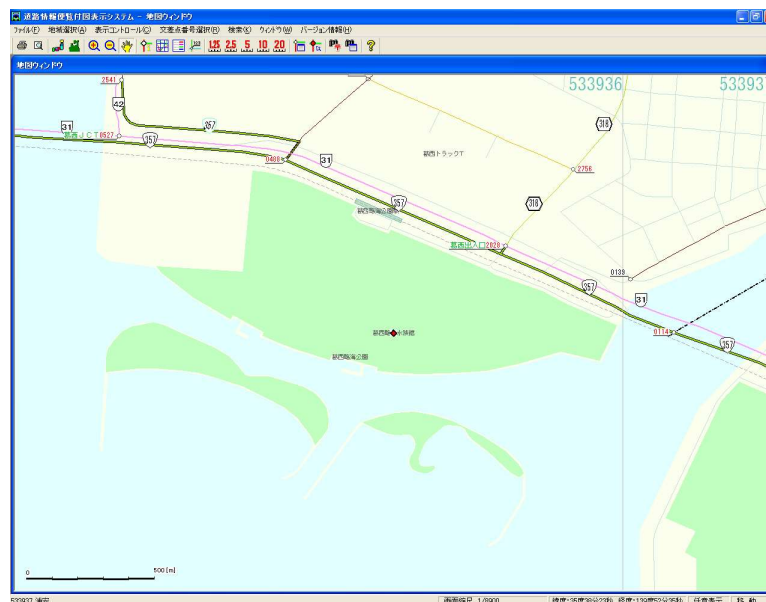


図 5-2-8 [検索項目の選択]-[施設名]の検索結果

検索位置に◆マークを表示します。

5. 交差点名検索

検索項目の選択ウィンドウの[交差点名]タブをクリックします。各項目の内容を入力・選択して[OK]ボタンでウィンドウを閉じます。

検索結果の位置を中心とした範囲を表示します。



検索項目の選択

特車交差点番号 | 旧便覧付図 | 地名
施設名 | 交差点名 | 市区町村 | 路線

1. 都道府県を選択してください。
近畿地方整備局

2. 検索したい交差点名に含まれる数文字を入力してください。
大阪 左記交差点名対象数: 7

3. 交差点名を選択してください。()内は経度、緯度です。

新大阪駅前東	(135.5012 34.7164)
大阪空港	(135.4510 34.7794)
大阪港の入口	(135.4415 34.6406)
大阪西宮線分岐	(135.4906 34.6761)
東大阪南インター	(135.5997 34.6360)
東大阪北インター	(135.5951 34.6876)
北大阪流通センター入	(135.5648 34.7746)

OK キャンセル

図 5-2-9 [検索項目の選択]-[交差点名]

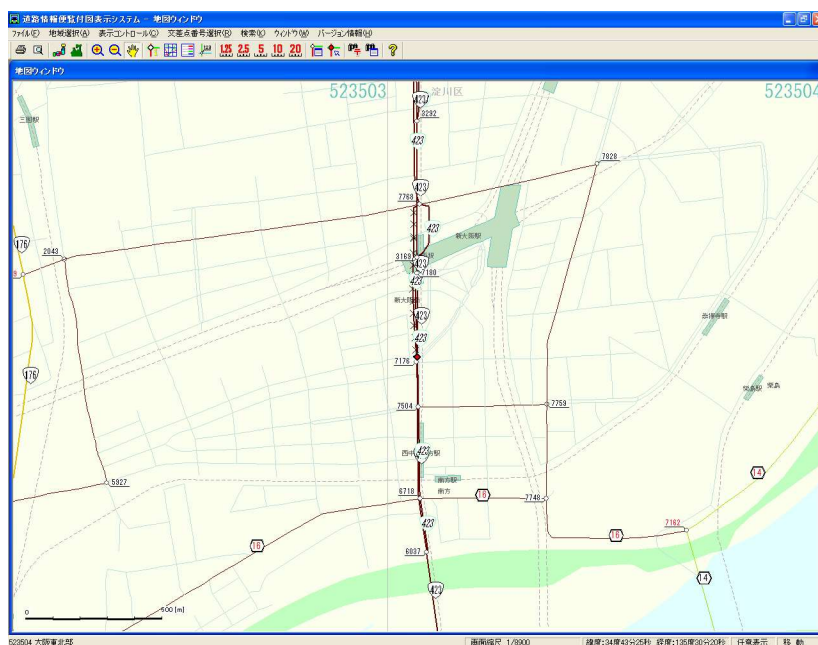


図 5-2-10 [検索項目の選択]-[交差点名]の検索結果


検索位置に◆マークを表示します。

検索項目の選択ウィンドウの[市区町村名]タブをクリックします。各項目の内容を入力・選択して[OK]ボタンでウィンドウを閉じます。

検索結果の位置を中心とした範囲を表示します。

図 5-2-11 [検索項目の選択]-[市区町村]



検索位置に  マークを表示します。

7. 路線検索

検索項目の選択ウィンドウの[路線]タブをクリックします。各内容を選択して[OK]ボタンでウィンドウを閉じます。

選択した路線に相当する範囲を表示します。該当路線を黄色で強調表示します。



図 5-2-13 [検索項目の選択]-[路線]

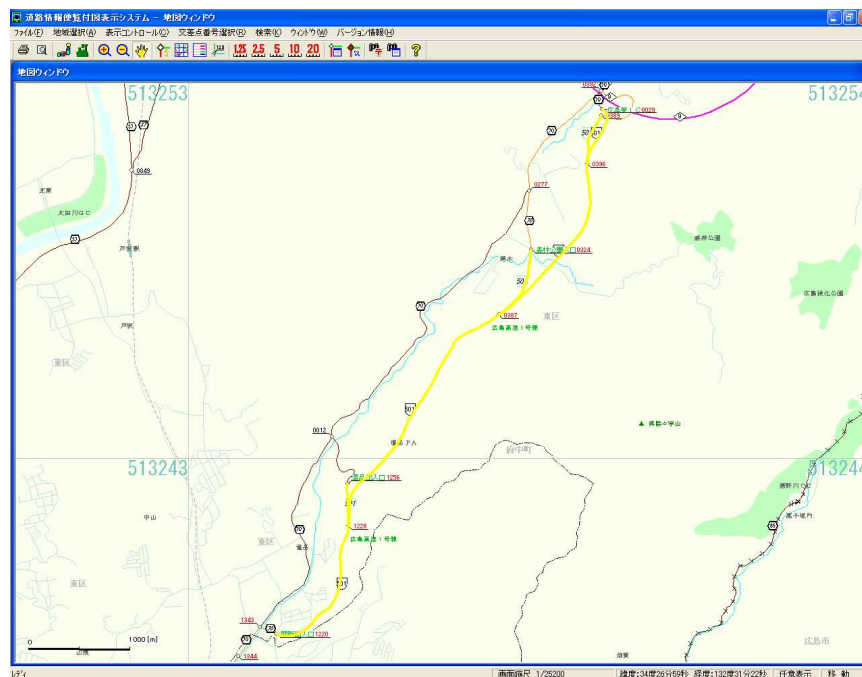


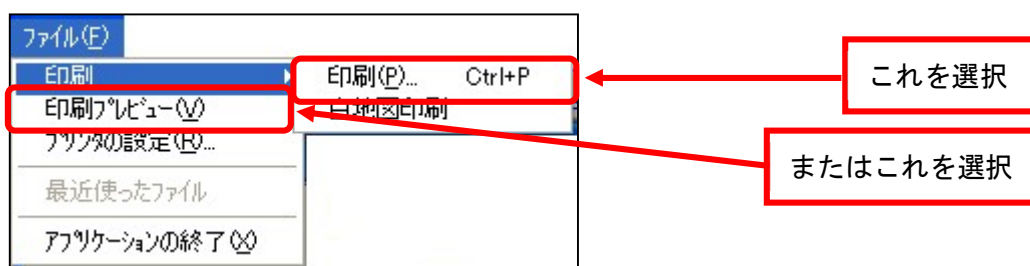
図 5-2-14 [検索項目の選択]-[路線]の検索結果

第6章 印刷

印刷には、画面印刷、区画印刷、縮尺指定印刷、及び白地図印刷の4種類の印刷モードがあります。白地図印刷に関しては[第4章の4-9 白地図印刷](#)を参照してください。
この章では画面印刷、区画印刷及び縮尺指定印刷について説明します。

6-1 画面印刷、区画印刷

メニューバーの[ファイル]→[印刷]→[印刷]、
または、[ファイル]→[印刷プレビュー]を選択してください。



1. 画面印刷

地図が任意表示モード（拡大、縮小、移動、検索等を行なった場合）のときに印刷を実行すると自動的に画面印刷になります。画面印刷は地図ウィンドウに表示されている範囲を現在のプリンタの設定により同じ縦横比になるように調整して印刷します。

「現在の縮尺のまま印刷」を選択して **OK** をクリックします。プレビューの場合はプレビュー画面が表示されます。

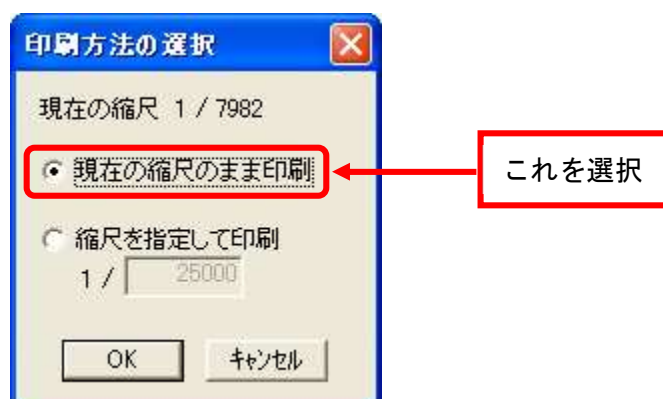


図 6-1-1 印刷方法の選択ダイアログ

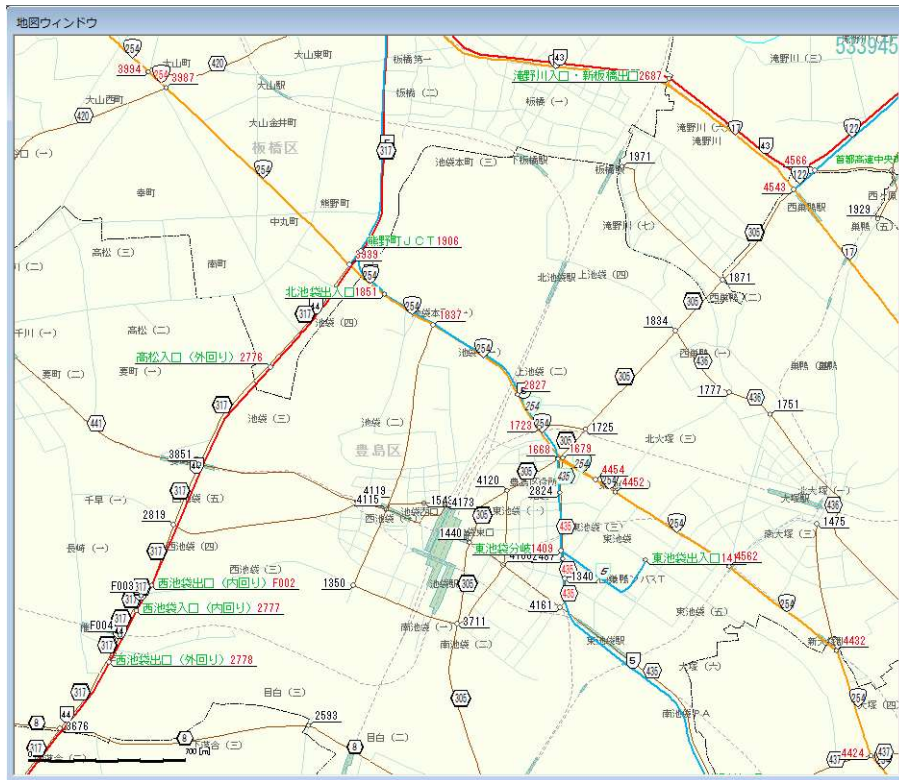


図 6-1-2 任意表示モードの地図画面

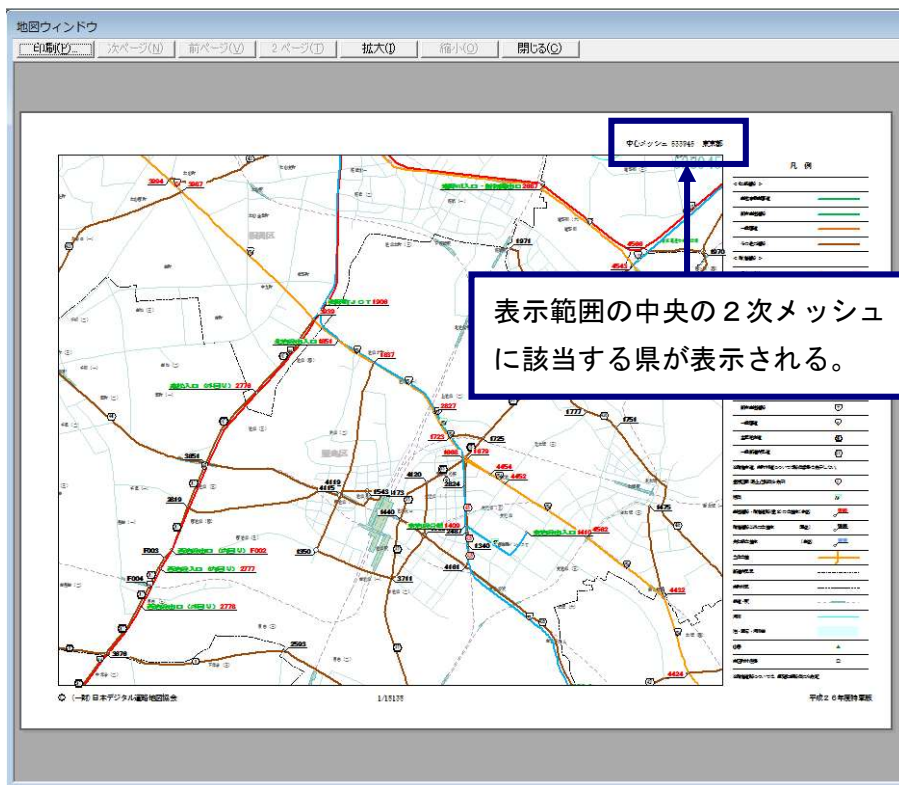


図 6-1-3 任意表示画面から印刷プレビューを実行した結果

2. 区画印刷

区画選択から地図を表示した場合に印刷を実行すると自動的に区画印刷になります。区画選択の方法については第3章の3-5 区画選択表示を参照してください。

区画印刷は選択した区画（地図画面の青枠内）の範囲にぴったり合うように調整して印刷します。図 6-1-4 の斜線部分は印刷範囲に含まれません。

※ 区画印刷の場合、縮尺指定はできません。

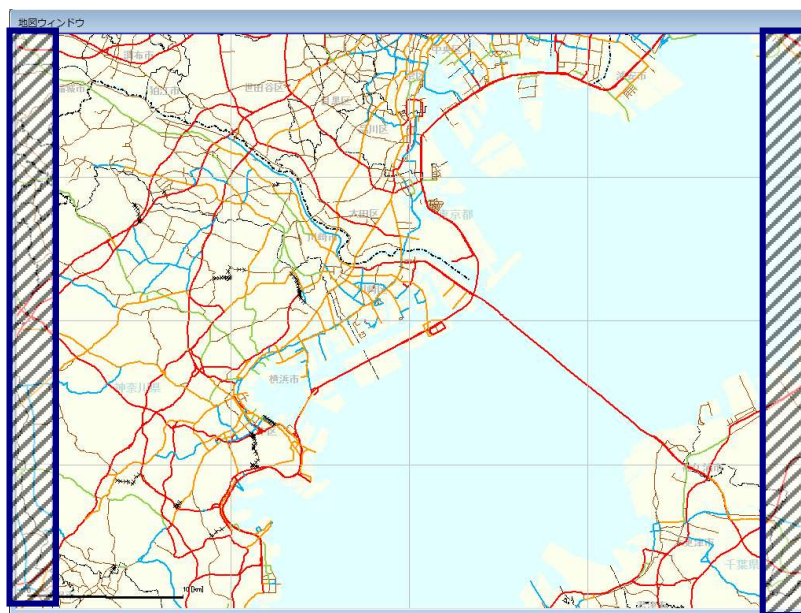


図 6-1-4 区画表示モードの地図画面

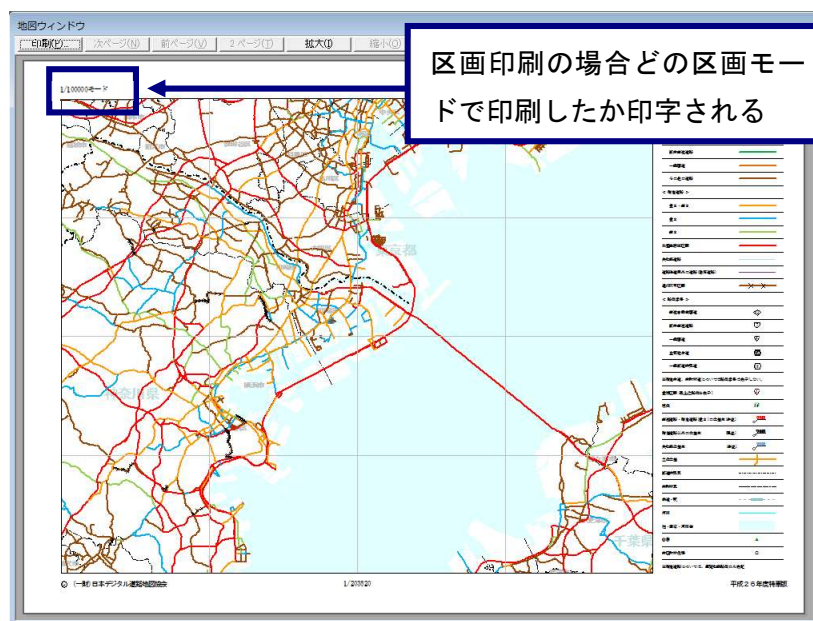
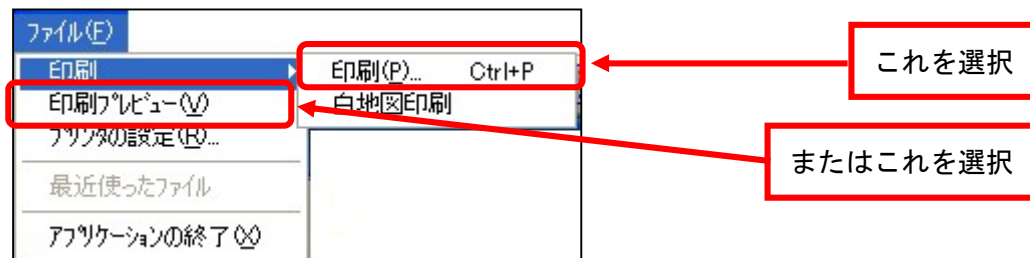


図 6-1-5 区画表示画面から印刷プレビューを実行した結果

6-2 縮尺指定印刷

メニューバーの[ファイル]→[印刷]→[印刷]、
または、[ファイル]→[印刷プレビュー]を選択してください。



印刷方法の選択ダイアログで「縮尺を指定して印刷」を選択し、入力範囲内で現在の縮尺を参考に入力ボックスに任意の縮尺を入力します。入力が完了したらOKをクリックします。プレビューの場合はプレビュー画面が表示されます。

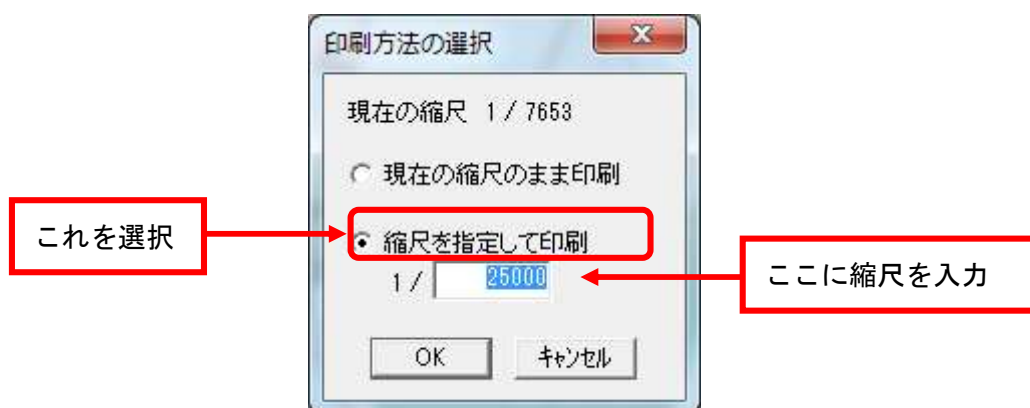
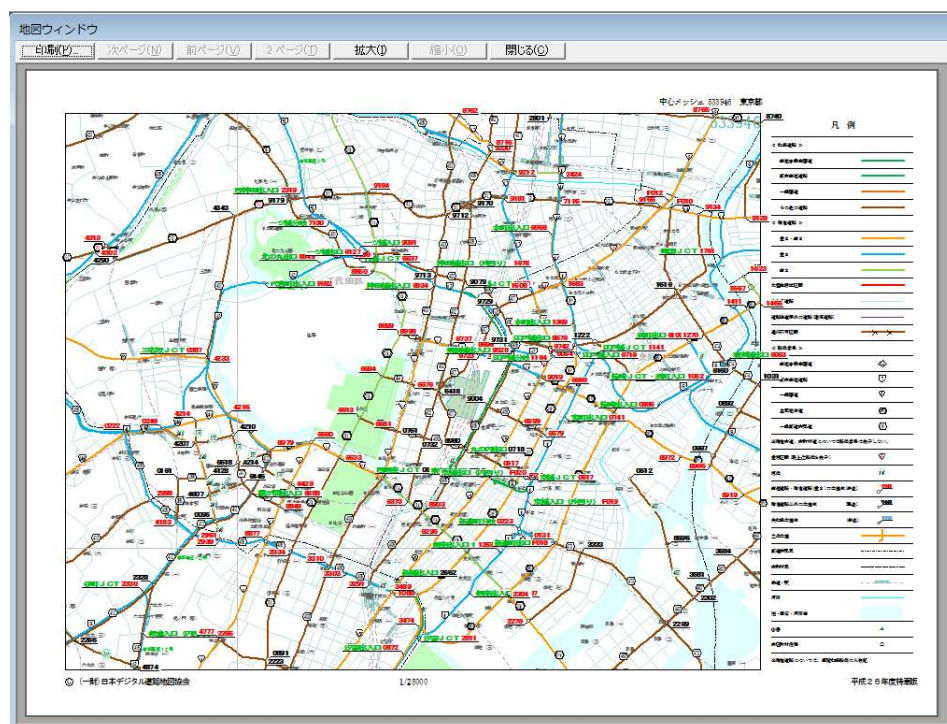
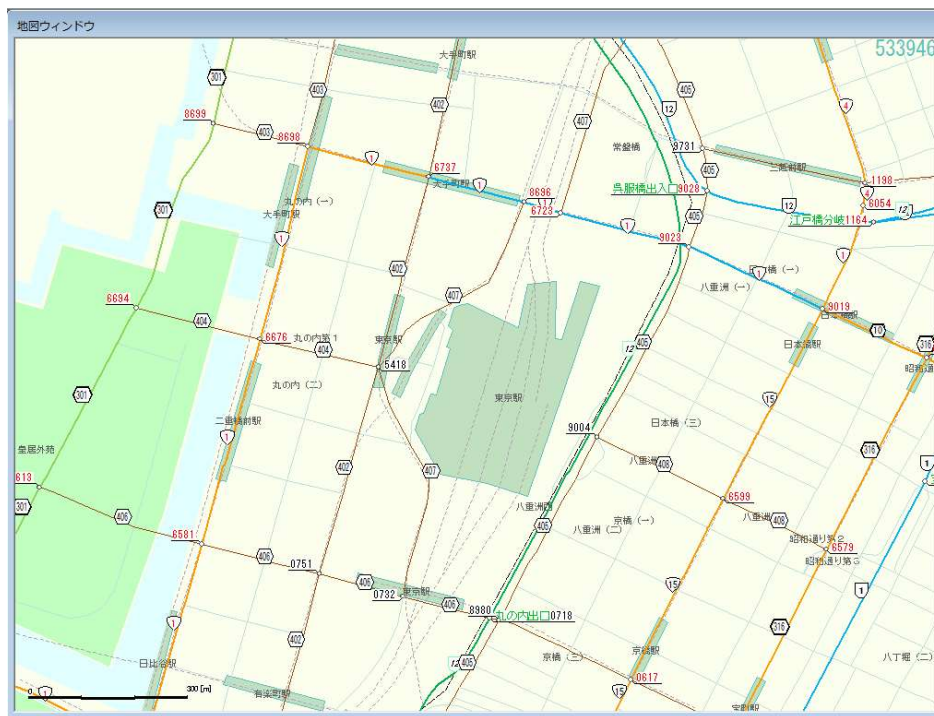


図 6-2-1 印刷方法の選択

地図ウィンドウに表示している範囲を指定の縮尺で印刷します。図 6-2-1 の設定では画面印刷では縮尺 1/7653 のものを 1/25000 の縮尺に設定しています。



6-3 印刷時の表示干渉チェック

縮尺によっては印刷時に交差点番号どうしが重なって印刷されてしまう場合があります。その場合、表示干渉チェックを行なう事で回避できる場合があります。

「表示項目設定」の印刷時の表示干渉チェックにチェックをつけます。

表示項目設定に関しては第3章の3-6 表示項目設定を参照してください。

※ 表示干渉チェックは非常に処理時間を要するため場所によっては印刷に数分かかる場合があります。

※ 表示干渉チェックはすべての重なりを回避できるものではありません。表示範囲、縮尺によっては重なりが発生する場合があります。

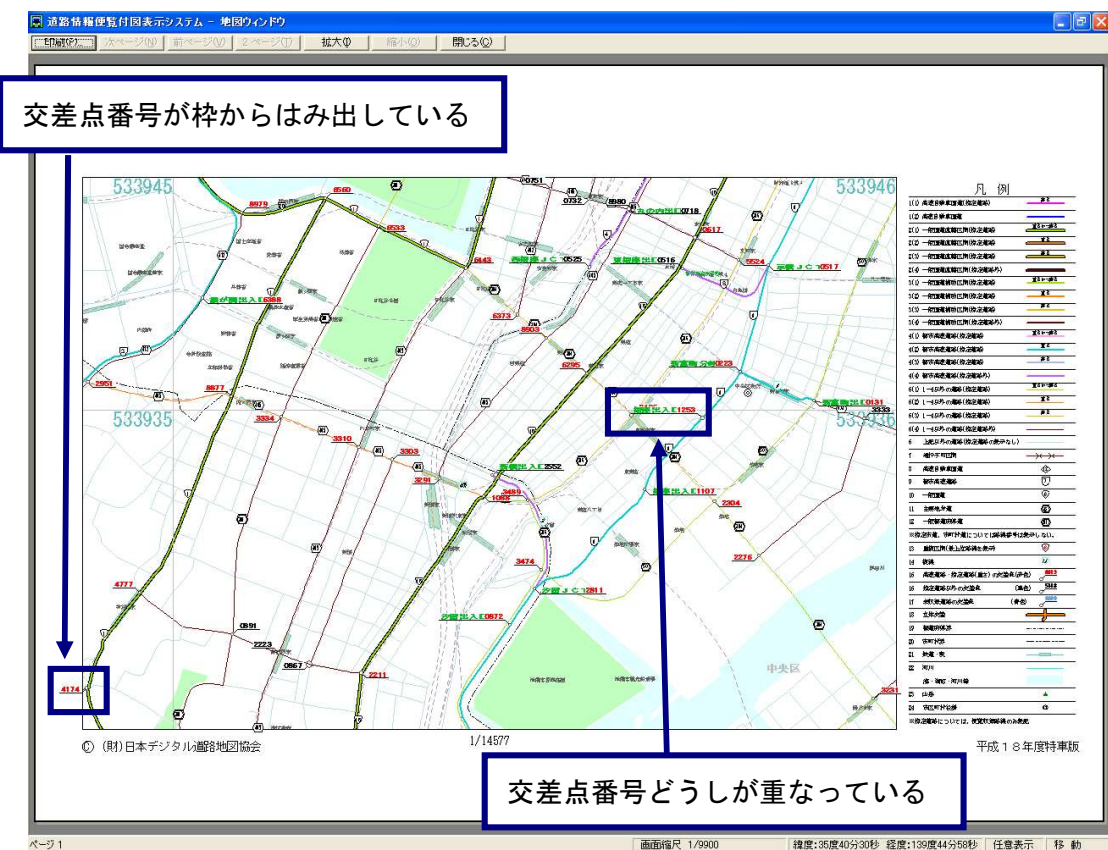


図 6-3-1 表示干渉チェックをしない印刷プレビュー結果

6-4 印刷時の凡例表示、非表示

初期設定では印刷時には凡例が印刷されるようになっています。「表示項目設定」の印刷時の凡例表示のチェックをはずすと印刷時に凡例をださないようにします。

表示項目設定についての詳細は[第3章の3-6 表示項目設定](#)を参照してください。

表示項目設定

道路表示

- ☒ 特車交差点番号 40000 m
- ☒ 未収録交差点番号
- ☒ 路線マーク 40000
- ☒ IC・JCT名
- ☒ 道路名
- ☒ 指定道路
- ☒ 大型車誘導区間

背景表示

- ☒ 県界 99999999 m
- ☒ 市町村界 80000
- ☒ 鉄道 40000
- ☒ 線水系 40000
- ☒ 面水系 99999999
- ☒ 施設形状 40000
- ☒ 地名 10000
- ☒ 施設名 10000
- ☒ 県名
- ☒ 市町村名

印刷時の表示干渉チェック

☐ 印刷時の凡例表示

画面の横幅 7172 m

OK キャンセル

表示範囲は画面の横幅が指定した範囲よりも小さいときに表示します。

図 6-4-1 凡例の表示／非表示設定



図 6-4-2 表示干渉チェックをした場合の印刷プレビュー結果

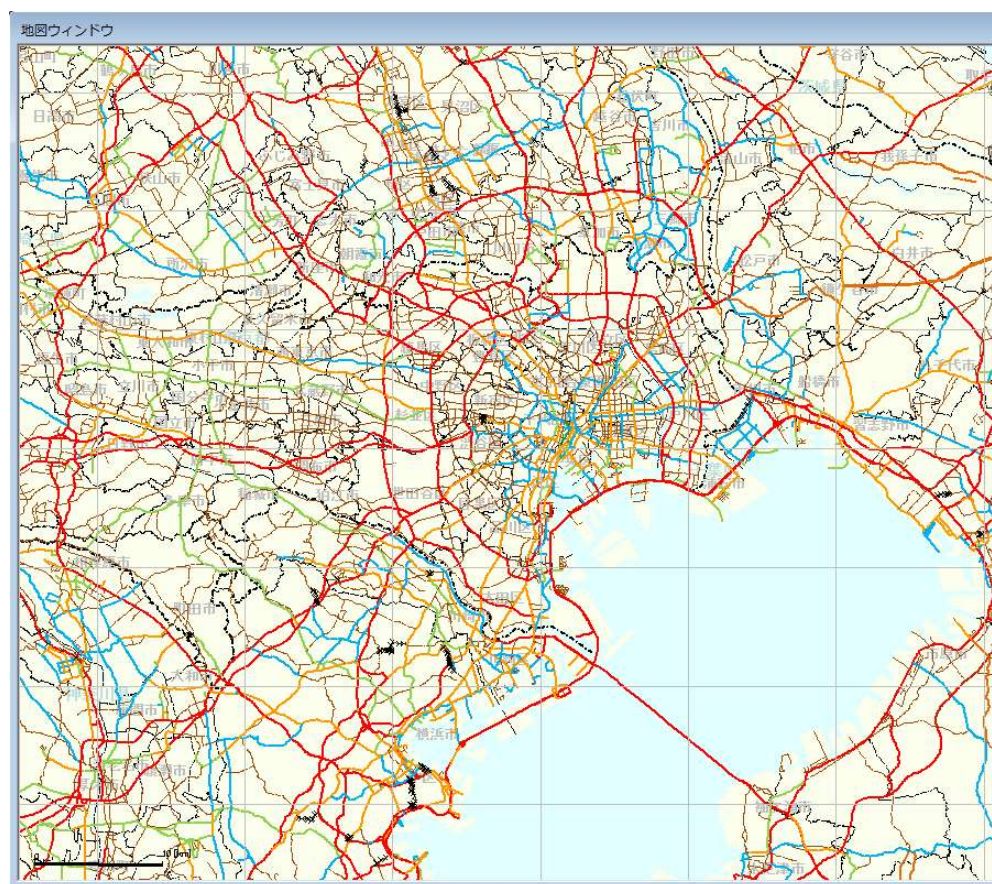
第7章 スパンの切り替え表示

収録道路（道路種別）、指定道路および大型車誘導区間ごとにスパン表示色を切り替えて表示する方法について説明します。道路情報便覧付図表示システム Ver. 20190701 版までは指定道路表示モード、大型車誘導区間表示モードの表示・非表示の組合せの4パターン表示であるが、それ以降のバージョンには特車許可不要区間表示が追加されました。7-5節で詳しく説明します。

7-1 指定道路表示モード、大型車誘導区間表示モードの両方を表示

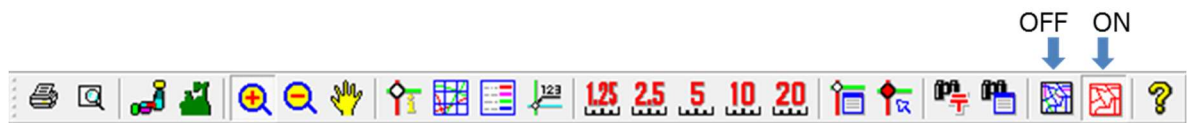


ツールバーの指定道路表示モード及び大型車誘導区間表示モードが指定されている場合、大型車誘導区間に該当するスパンは赤色で表示する。指定道路に該当するスパンは重さや高さ別の色で表示する。それ以外のスパンは道路種別ごとの色で表示する。



7-1-1 指定道路表示モード、大型車誘導区間表示モードの両方を表示した結果

7-2 大型車誘導区間表示モードのみ表示



ツールバーの大型車誘導区間表示モードのみが指定されている場合、大型車誘導区間に該当するスパンは赤色で表示する。それ以外のスパンは道路種別ごとの色で表示する。

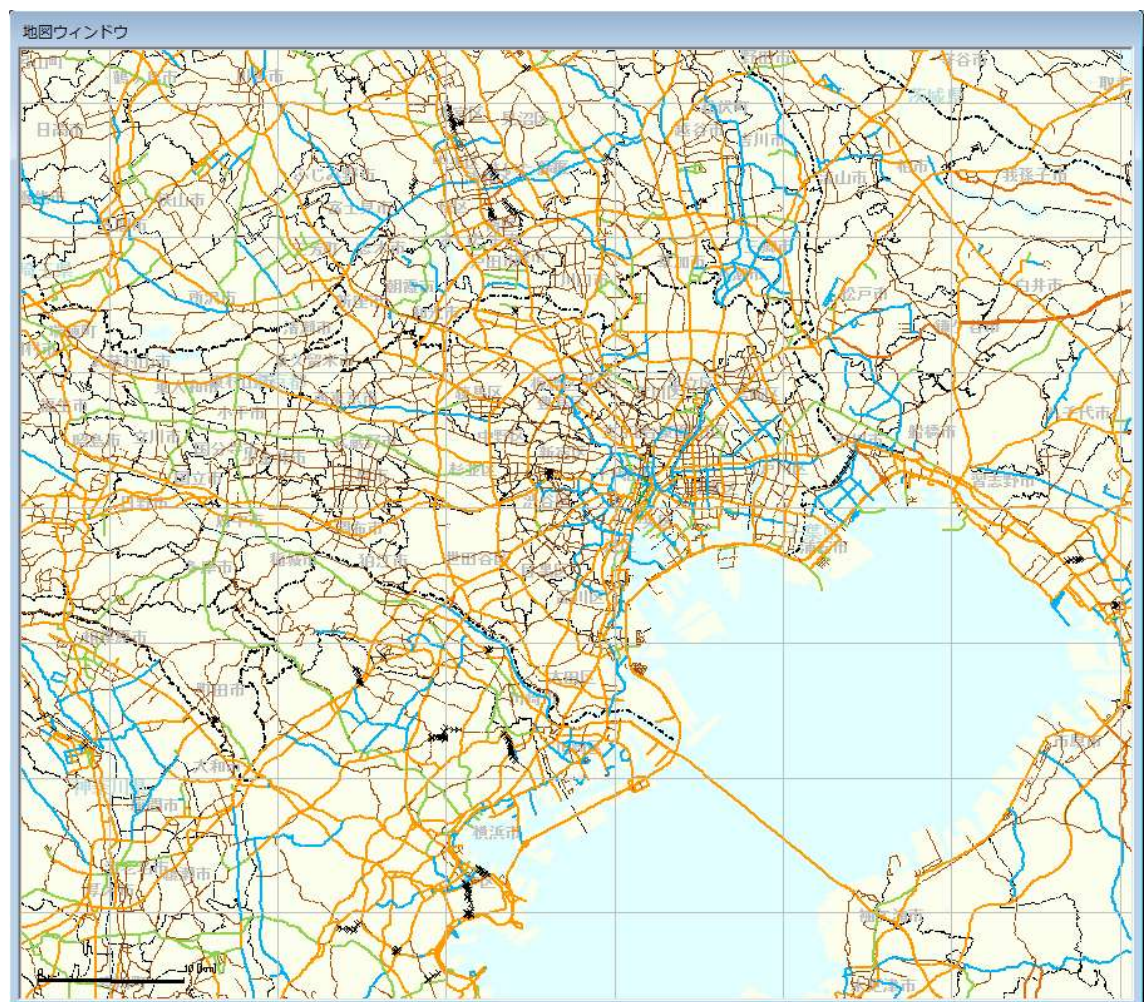


7-2-1 大型車誘導区間表示モードのみ表示した結果

7-3 指定道路表示モードのみ表示



ツールバーの指定道路表示モードのみが指定されている場合、指定道路に該当するスパンは重さや高さ別の色で表示する。それ以外のスパンは道路種別ごとの色で表示する。

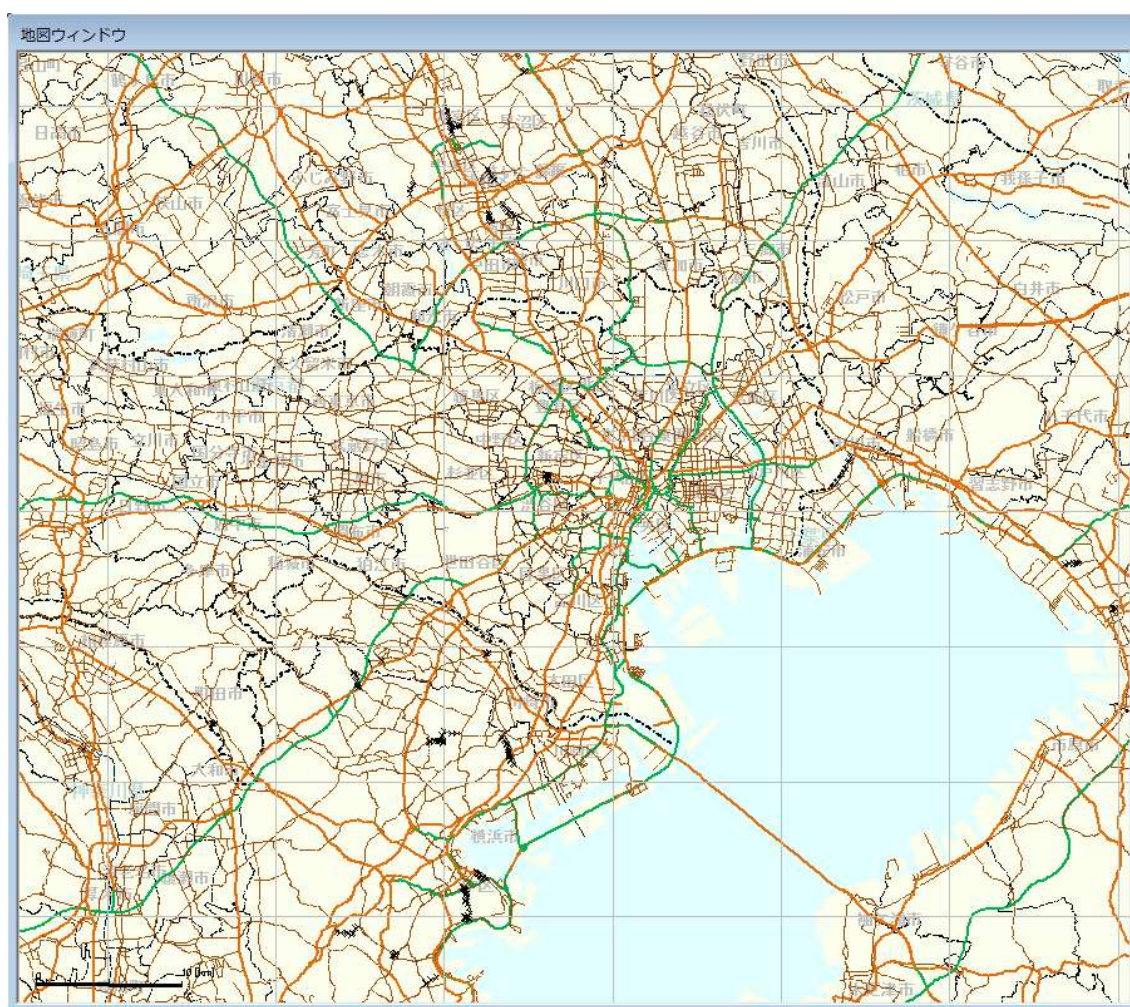


7-3-1 指定道路表示モードのみ表示した結果

7-4 表示の指定なしの結果



指定道路表示モードや大型車誘導区間表示モードの指定がない場合、スパンは道路種別ごとの色で表示する。



7-4-1 表示の指定なしの結果

7-5 特車許可不要区間表示

指定道路表示モード、大型車誘導区間表示モードに加え、特車許可不要区間表示モードが追加となりました。



特車許可不要区間
表示ボタン

特車許可不要区間表示ボタンを押すことにより、特車許可不要区間が地図表示されます。特車許可不要区間は深緑色で表示されます。

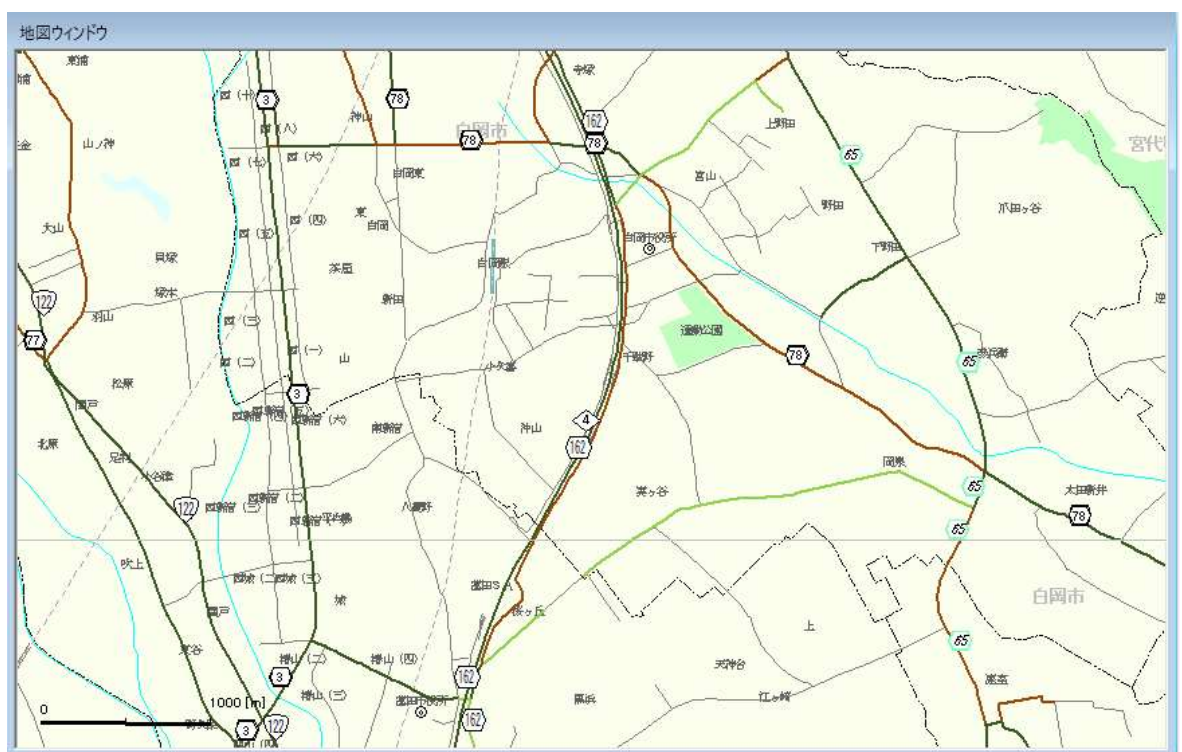


図 7-5-1 特車許可不要区間を表示した例（実際の許可不要区間とは異なります）

指定道路表示モード、大型車誘導区間表示モード、特車許可不要区間表示モードのツールボタンの On/Off と地図表示される内容を以下の表にまとめました。

表示パタン	指定道路表示	大型車誘導区間表示	許可不要区間表示	表示内容
1	Off	Off	Off	道路種別による表示
2	On	Off	Off	指定道路表示
3	Off	On	Off	大型車誘導区間表示
4	On	On	Off	指定道路と大型車誘導区間表示
5	Off	Off	On	許可不要区間表示
6	On	Off	On	指定道路と許可不要区間表示
7	Off	On	On	大型車誘導区間と許可不要区間を表示
8	On	On	On	指定道路、大型車誘導区間、許可不要区間を表示

表示の優先順位は以下のようになります。

- ①特車許可不要区間
- ②大型車誘導区間
- ③指定道路
- ④道路種別

1つの特車スパンが指定道路で、大型車誘導区間で、特車許可不要区間であった場合は、特車許可不要区間の色で表示されます。

第8章 データ更新

ユーザー自身が道路情報便覧付図表示システムの表示用データを更新する手順について説明します。



道路情報便覧付図表示システム Ver. 202003031 以前のシステムを用いて、Ver. 20200701 のデータに更新しようとするの特車スパン数の増加に伴い属性を保持する配列が不足するため、エラーとなりました。

このため、今後の特車スパン数の増加に耐えるように、道路情報便覧付図表示システム Ver. 20200701 ではプログラムを改修しました。

Ver. 20200701 以降の更新データを使用する場合は、必ず Ver. 20200701 以降の道路情報便覧付図表示システムにてデータ更新を行ってください。

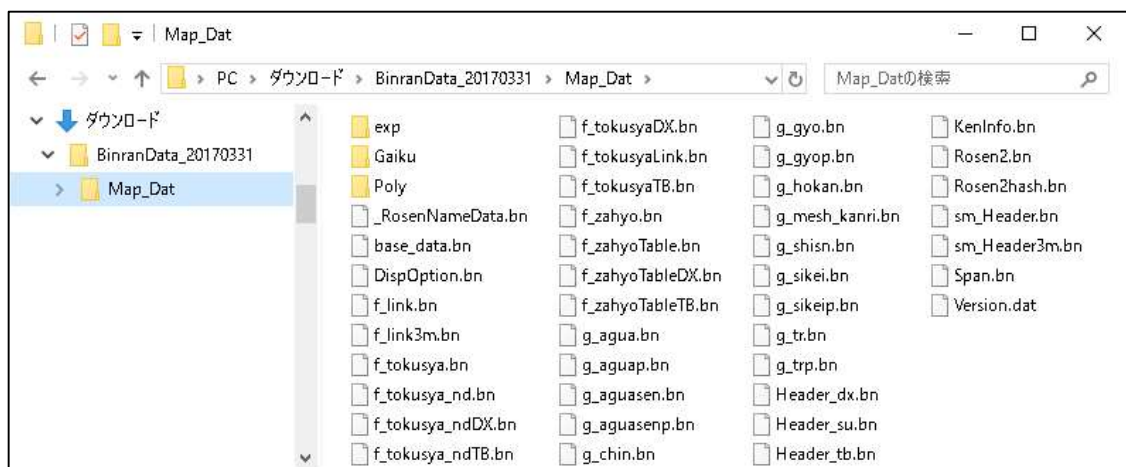
8-1 更新用データのダウンロード

国土交通省の特殊車両通行許可オンライン申請サイトから道路情報便覧付図表示システム用の更新データをダウンロードし、適切な場所に解凍します。

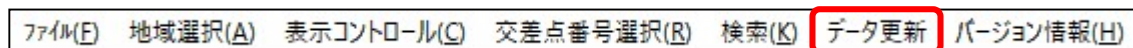
以下は、ダウンロードフォルダに「BinranData_20170331.zip」というファイル名でダウンロードし、解凍した例



解凍後のフォルダ構成は以下のようになる。

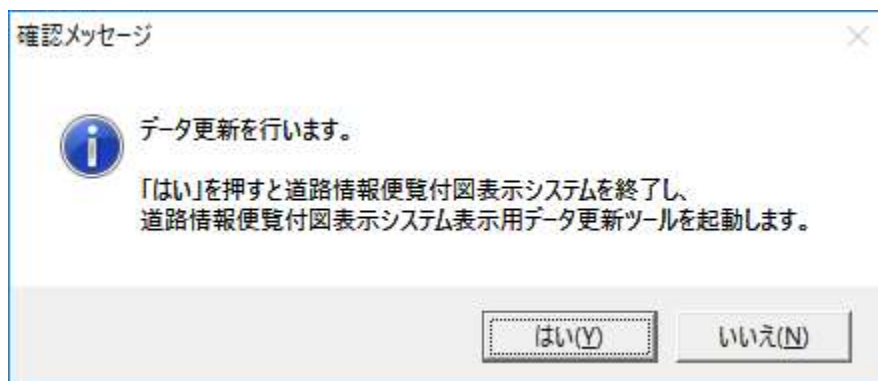


8-2 道路情報便覧付図表示システム表示用データ更新ツール起動
メニューバーの[データ更新]を選択してください。

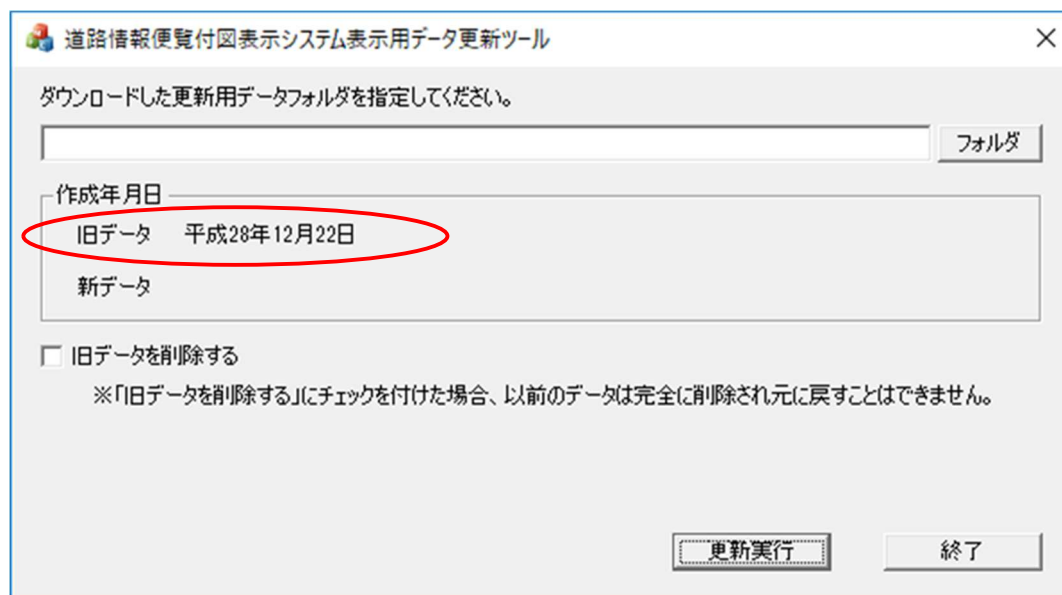


これを選択

以下の確認メッセージが表示されます。「はい」を選択します。

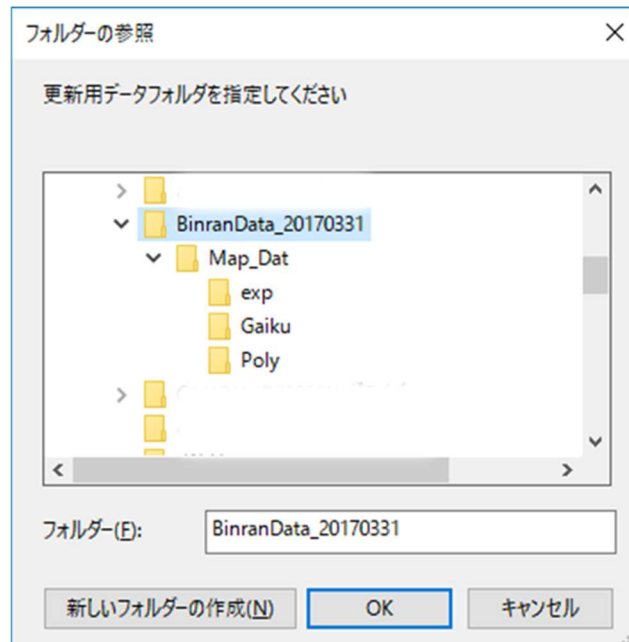


道路情報便覧付図表示システムを終了し、以下の道路情報便覧付図表示システム表示用データ更新ツールを起動します。作成年月日の旧データに現在道路情報便覧付図表示システムで使用しているデータの作成年月日が表示されています。

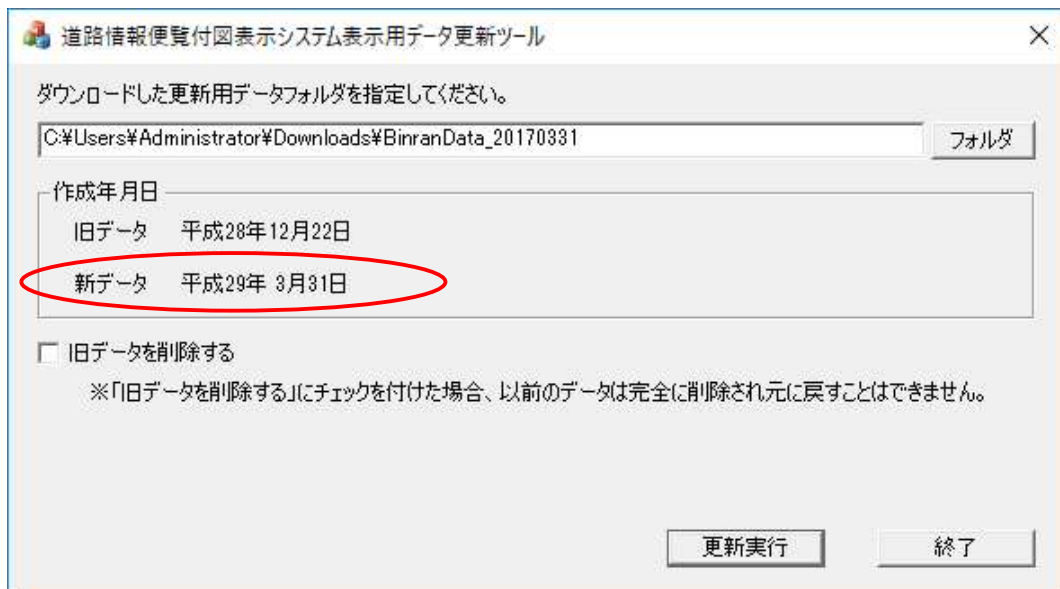


8-3 更新用データフォルダ指定

フォルダボタンを押すと以下の画面を表示します。ダウンロード・解凍したフォルダを指定し**OK**ボタンを押します。

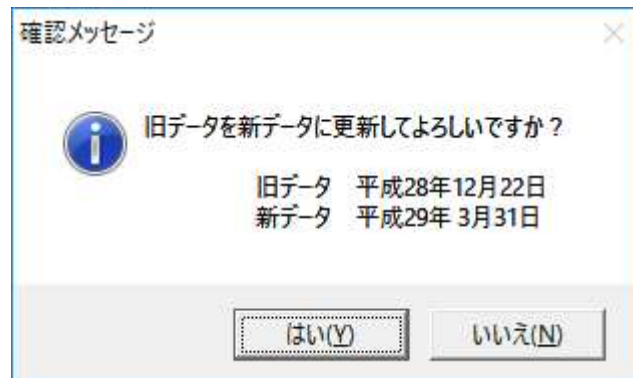


作成年月日の新データに作成年月日が表示されます。

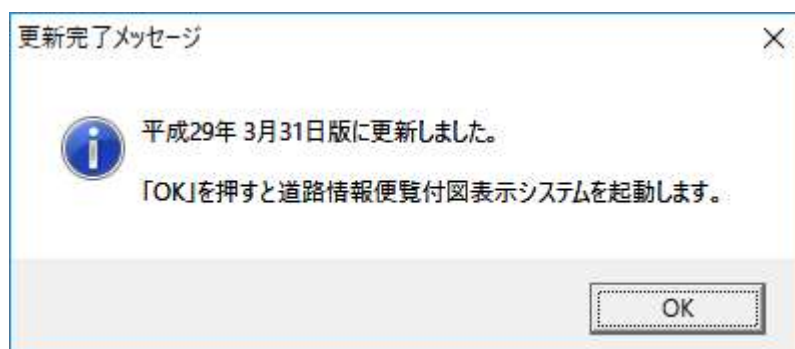


8-4 更新実行

更新実行ボタンを押すと以下の確認メッセージが表示されます。**はい**を選択すると更新処理が開始されます。

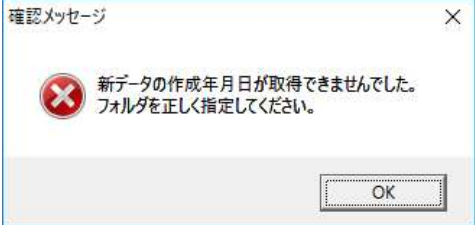
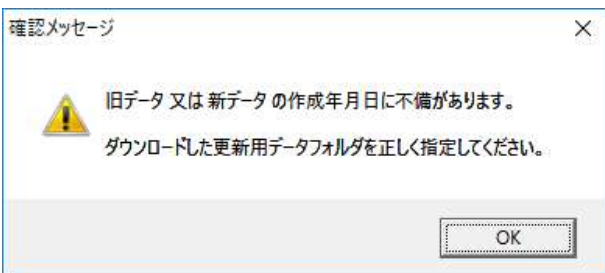
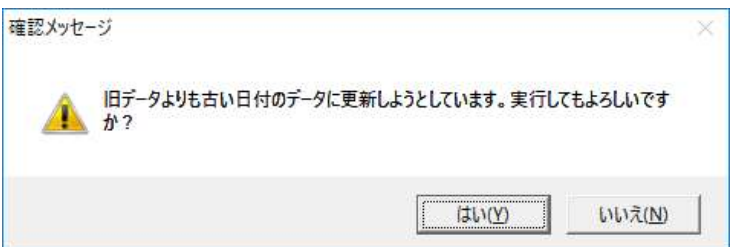


以下の更新完了メッセージが表示されたら処理は完了です。**OK**ボタンを押すと道路情報便覧付図表示システム表示用データ更新ツールを終了し、道路情報便覧付図表示システムを起動します。



8-5 エラーメッセージ

エラーメッセージが表示された場合は、以下の対応を行ってください。

メッセージ内容	対応例
	<p>ダウンロードしたフォルダを確認し再度フォルダを指定しなおしてください。</p>
	<p>ダウンロードしたフォルダが指定されていない可能性があります。再度フォルダを指定しなおしてください。</p>
	<p>現在使用しているデータよりも古いデータのフォルダが指定されています。</p>